

Bulletin JASA

組込みシステム技術協会機関誌

vol. 94

2025
Jul.

EdgeTech+
WEST 2025

2025. 7.24 Thu. ▶ 25 Fri. 10:00~17:00
グランフロント大阪 北館 B2F
コングレコンベンションセンター



AI/生成AIで加速する事業変革と産業DX

各出展社の展示テーマ・内容を紹介

出展社情報掲載

会社訪問



株式会社システム計画研究所
科学技術分野に特化したソフト開発で半世紀に及び社会貢献
高度技術を養った100名超のエンジニアが顧客とビジネス推進

活動報告



技術本部成果発表会 開催報告
[支部・委員会だより]
第27回日本プラグフェスト開催報告 / 近畿支部セミナー開催報告
大阪・関西万博 2025でドローンシミュレータのデモを実施 / 異業種交流会 BBQParty(関東支部)開催報告

募集・ご案内

実践リーダ研修2025(管理者・幹部候補育成)
トップリーダー倶楽部で大阪・関西万博に行こう!
[Information] JASAプログラムで、貴社のエンジニアを育成!
JASA CALENDAR 第21回 RISC-V WG主催Webセミナー

etc.

新任ご挨拶 役職理事および支部長就任にあたって
組織改編について
仮説検証ブートキャンプ
横田英史の書籍紹介コーナー

**経営スキル
を磨こう!**

実践リーダ研修2025 (管理者・幹部候補育成)

「IT×ビジネスで切り拓く 自社の新価値創造戦略」 ～次世代幹部候補の人脈形成と～

自社の“ありたい姿”を描き、課題を自ら設定し、戦略と実行計画へとつなげる——そんなリアルな事業戦略を、実テーマを通じて学びませんか？

2025年度 実践リーダー研修では、経営幹部候補として求められる「両利きの経営」スキルを身につけ、自社の未来を切り拓く戦略的視座と覚悟を養います。

また、本研修では企業の枠を越えて、同じ立場で葛藤する仲間たちと“横のつながり”を育み、次世代経営者同士のコミュニティ形成もめざします。

講師は関西学院大学の清水詠准教授。ワークショップ形式で、チームビルディング・相互フィードバックを行いながら、実践力を徹底強化！

新たな一歩を踏み出すあなたを、全力で応援します！



Round1 チームワークショップ

8/5 (火) [14:30/17:00] 会場 (東京品川・大阪梅田) or オンライン

9/2 (火) [14:30/17:00] オンライン

Round2 個別戦略策定

10/7 (火)、11/4 (火)、12/2 (火) [14:30/17:00] オンライン

最終報告会

2026/1/23 (金) [14:30/17:00] 会場 (東京品川・大阪梅田) or オンライン

お申込み・詳細

<https://www.jasa.or.jp/lists/leadertraining2025/>



[申し込み締切り] 2025年7月25日(金) 午前中

※締切日以降の申し込みお問い合わせ先 registration@jasa.or.jp

Bulletin JASA vol.94 contents

※記載の会社名、製品名などは各会社の商標または登録商標です。 ※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

【特集】EdgeTech+ West 2025 開催

1… 展示会概要 2… 出展社情報

表2… 実践リーダ研修2025(管理者・幹部候補育成)

6… 新任ご挨拶 役職理事および支部長就任にあたって

8… 組織改編について

9… 仮説検証ブートキャンプ

10… 技術本部成果発表会 開催報告

12… [会社訪問] 株式会社システム計画研究所

科学技術分野に特化したソフト開発で半世紀に及び社会貢献
高度技術を養った100名超のエンジニアが顧客とビジネス推進

14… [支部・委員会だより]

第27回日本プラグフェスト開催報告/近畿支部セミナー開催報告
大阪・関西万博 2025でドローンシミュレータのデモを実施/
異業種交流会 BBQParty(関東支部)開催報告

16… トップリーダー倶楽部で大阪・関西万博に行こう!

17… 横田英史の書籍紹介コーナー

18… 会員企業一覧

20… JASAプログラムで、貴社のエンジニアを育成! / JASA CALENDAR
編集後記

※記載の会社名、製品名などは各会社の商標または登録商標です。 ※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



お見逃しなく!!

来場・聴講登録は当日も行えます。

来場
無料

7.24 Thu. ▶ 25 Fri.

開場時間 10:00~17:00

グランフロント大阪 北館 B2F コングレコンベンションセンター

エッジテックプラス大阪



主催：一般社団法人組込みシステム技術協会 (JASA)
企画・推進：株式会社ナノオプト・メディア

ご来場の際は公式サイトより
来場登録をお願いいたします！
<https://www.jasa.or.jp/etwest/>



協会主催の総合技術展「EdgeTech+West 2025」が7月24日(木)・25日(金)、大阪・梅田のグランフロント大阪で開催されます。
「AI/生成AIで加速する事業変革と産業DX」をテーマに、**全43講演と約80社の展示によるエッジテクノロジー最新動向**を発信いたします。是非リアルな場でご体験ください!

技術者必聴!

セキュリティ対策、開発手法、AIoT実践スキルを徹底深掘り

未来を創るキーパーソンが語る

生成AI、人間拡張、組込み開発の展望

生成AI×エッジで加速する**産業DX**

最新技術が導く事業革新

松川 玄太氏

ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)
システムソリューション事業部 ビジネス部
EdgeVisionEngineering課
統括課長

三好 史隆氏

アマゾン ウェブ サービス ジャパン(同)
技術統括本部
エンタープライズ技術本部
自動車・製造グループ
ソリューション アーキテクト

江崎 浩氏

東京大学大学院
情報理工学系研究科
教授

坂村 健氏

INIAD cHUB
(東洋大学情報連携学術実業連携機構)
機構長/
東京大学 名誉教授

西脇 資哲氏

日本マイクロソフト(株)
業務執行役員
エバンジェリスト

津田 恵理子氏

エヌビディア(同)
エンタープライズ事業本部
シニア ソフトウェア ビジネス デベロップメント
マネージャー

ICOP I.T.G. B-D20 産業PC、パネルPC、小型PC、EtherCAT mainとsubデバイス

x86互換SoC Vortex86シリーズを搭載した組み込みボード、小型PC、パネルPCを展示いたします。Vortex86シリーズはISA、PCI、IDE、パラレル、DOS、WES2009、QNX、VxWorks等のレガシーサポートが可能で、他社製品生産終了時の置き換えにぴったりです。加えて新製品のEtherCAT Mainデバイス(マスター)、Subデバイス(スレーブ)製品群QECを展示いたします。QECはarduino拡張環境でローコード開発が可能で、マスター、スレーブのコンフィギュレーション・ツール、HMI作成ツールを提供いたします。

アイスマイリー C-P13 | 画像認識 AI Expo 最適なAIプロダクトを紹介するAIポータルメディア「AIsmiley」を運営

アイスマイリーでは、AIプロダクトの導入支援・プロモーション支援、DX推進のコンサルティングをしています。AIエージェントや生成AIをはじめとする多数のAIプロダクトの取り扱いに特化しており、あなたの課題を解決してくれる最適なAIサービスを見つけることができます。出展ブースでは、AIプロダクトの紹介や最新のカオスマップなどの閲覧が可能です。…続きは公式サイトへ

アジャイルウェア B-D04 詳細は公式サイトでご確認ください。**アットマークテクノ A-M04** 小型・省電力の組み込みプラットフォーム「Armadillo」シリーズを中心に紹介します。

アットマークテクノは、様々な機器やIoTソリューションを実現するために必要な組み込みCPUボードやIoTゲートウェイの企画・設計・開発から販売までを手掛ける国内メーカーです。主要製品シリーズの組み込みプラットフォーム「Armadillo(ARMマジョ)」は、ArmプロセッサとLinux OSを搭載し、小型で省電力なことが特長で、量産製造まで対応できる産業用途向けの製品です。IoT機器に求められる高セキュリティな機能を備え、専用のデバイス運用管理クラウドサービスと組み合わせることで、長期安定運用を実現できます。

アレックス B-P16 詳細は公式サイトでご確認ください。**イーエルシステム B-P12** 当社は独立系の組込みソフトウェア開発、業務システム開発、IoTシステム開発・販売を行っています

・IoTシステム開発
製造現場での要件定義、試作開発からIoTシステムの導入のコンサルティング、ご提案を行います。試作開発はソフトウェア資産を流用してコストを抑えながら、試験導入により仕様を段階的に決定しています。設備データは、PLC（シーケンサ）からのデータ取得だけでなく、古い設備のデータ取得も様々な方法で実現しています。…続きは公式サイトへ

イー・フォース B-U08 組込みシステム向けパッケージソフトウェアの開発・販売を行う国内OSベンダ

弊社は創業以来、高効率で最適化されたシステム設計を頭に、組込みシステム向けのオペレーティングシステムやミドルウェアなどのソフトウェア開発を行ってきました。弊社の主力製品「μC3」シリーズは、マイコン、プロセッサ、マルチコア、機能安全に対応しており、現在までに1,000製品以上の導入実績があります。産業機器、医療機器、IoT、通信、車載、OA等様々な分野で採用されています。また、試作から量産までを実現するIoTプラットフォーム「iot-mos」も展開しており、既存機器の無線化やクラウド連携を低コストで実現することが可能です。

ETロボコン2025 A-S12 近年、ITエンジニアの人材不足が深刻化しており、特に“即戦力”となる人材の育成が重要な課題となっています。

ETロボコンは、こうした課題に応えるべく、若手や初級エンジニアを対象に、設計・実装・テストをゼロから体験できる実践の場を提供しています。日常業務ではなかなか経験できない本物の開発プロセスにチームで挑むことで、技術力はもちろん、課題解決力やコミュニケーション力など、現場で求められる実践的なスキルを総合的に育むことができます。ETロボコンは、次世代のものづくりを担う人材を育てる貴重な学びと成長の機会を提供しています。

イミロン A-U08 『論理学で社会に安心と安全を』先進情報技術に対し、論理学に基づくセーフガード・論理的説明技術を提供

私たちイミロンは、国立情報学研究所における先端研究を元に設立された、大規模複雑なシステムの安全性と信頼性を向上させることに専念するテクノロジースタートアップです。理論計算機科学における世界クラスの研究を基盤とし、システムのあるべき振る舞いを形式仕様により表現し、自動検証するための革新的な技術を開発しています。私たちの目標は、安全、高信頼性かつ、説明責任を備えたミッションクリティカルなシステムのためのエンジニアリングプラットフォームを提供することです。

ウィンボンド・エレクトロニクス C-P04 自社ファブ保有で長期安定供給を実現！トータルメモリソリューションプロバイダのウィンボンド

ウィンボンド・エレクトロニクスは半導体メモリソリューションの世界的リーディングサプライヤーです。製品の設計、研究開発、製造、および販売サービスのエキスパートとして、お客様のニーズに基づいたメモリソリューションを提供しています。製品ポートフォリオは、スペシャルティDRAM、モバイルDRAM、コードストレージフラッシュメモリ、およびTrustMEセキュアフラッシュメモリで、通信、家電、…続きは公式サイトへ

出展社セミナー | E11-02 『規制強化に向けて ～実システム開発を具現化・加速するセキュアフラッシュメモリソリューション』

SBクリエイティブ C-G14 SBクリエイティブが運営するWebメディア「ビジネス+IT」はB2B商談発掘のための専門サービスです

高品質の会員制Webメディア「ビジネス+IT」を中心に雑誌、メルマガ、セミナー等を通じて、ユーザー企業のCxO、各部門長をメインターゲットに、ビジネス課題を解決するIT情報を提供しています。

NXTech C-B04 デジタル社会とイノベーション創出の実現に向けて製品・サービス・人材で最適なソリューションを提供します

NXTech株式会社は、SAAFホールディングスグループの「エンジニアリングサービス・システム開発・デジタルサービス」の中核会社として、システム開発・ITサービスの「システムソリューション」、センサからクラウドまで統合した「IoTソリューション」、組込みソフトウェアなどの「組込みソリューション」の3つに集中し、様々な製品とサービスを提供します。

NTTデータ関西 C-B08 デジタルソリューション技術で、幅広い領域の事業者様の課題解決をお手伝いいたします**NTTデータ先端技術 C-P11** クラウド、ネットワーク、DB、セキュリティ等のシステム基盤プラットフォームを構築している会社です

出展社セミナー | E71-03 『現場を進化させるエッジAIの力 ～リアルタイム認識が切り拓く新たな可能性～』

エフィニックス A-K12 / A-K14 革新的で柔軟性のあるQuantumアーキテクチャを持つFPGAで高性能かつ低電力を実現**エムニ C-J12 | 生成 AI ソーン** 京大・松尾研発の技術力を基盤とし、製造業の企業様向けにAIを活用したサービスをご提供しております！

製造業を中心に各企業ごとにカスタマイズされた「オーダーメイドAI」の開発及び導入支援に取り組んでいます。弊社は製造業に特化して、各会社の課題や実現したい姿に合わせて最適なAIシステムを1から開発いたします。その他には技能伝承を実現する「AIインタビュー」や生成AIを活用したパテントマップ自動生成「AI特許ロケット」の2つのプロダクト提供も行っております。無料デモ開発も実施中ですので、ぜひお気軽にお立ち寄りください！

大阪エヌデーエス C-J24 革新的なテクノロジーを駆使した製品とサービスを提供、お客様の持続可能な成長を全力でサポート致します。

お客様視点による価値創出で社会課題・インフラを支える大阪エヌデーエスソフトウェア製品「BRICK eloT」 & 「BRICK eLinux」を中心に今回の展示では、企業のニーズに合わせてカスタマイズされ、効率的かつ効果的に運用されることを目指した、ニーズや期待に応えるためのシステム構築/コンサルティング/教育支援/サポートなどの関連サービスをご紹介致します。どうぞ会場へお越しください。お待ちしております。

オライリー・ジャパン C-F28 最新刊から定番まで、エンジニア注目のオライリー・ジャパン刊行書籍を特別販売！

株式会社オライリー・ジャパンブースでは、最新刊から定番まで、エンジニア注目のオライリー・ジャパン刊行書籍を一堂に集め、特別販売を行います。 どうぞお気軽にお立ち寄りください！

技術評論社 B-U06 IT・コンピュータージャンルを中心として年間約400点の新刊を発売している専門出版社が技術評論社です

1969年、機械工学の専門出版社としてスタートして以来、コンピュータテクノロジー分野ではトップクラスの発行点数・売上を誇り、コンピュータ社会の進展に貢献してきました。 2025年現在は発売35年を超えるIT技術情報誌の月刊『Software Design』や専門Webメディアgihyo.jpなど、日本のITエンジニアたちに役立つ情報を、紙・デジタル・オンラインなどを通じ、日々お届けしています。

Qt Group A-B04 GUI・HMIのデザイン、開発、デプロイ、テストプロセスを最適化

Qt Groupはクロスプラットフォームアプリケーション・UIフレームワーク「Qt (キュート)」、およびGUI自動テスト、ソフトウェアアーキテクチャ解析・静的コード解析等の品質保証ツール群の開発、販売、ならびに、これらに関するコンサルティング、開発支援、トレーニングを提供、変化の激しい市場へのスピーディな製品投入を支援します。

近畿大学 ハザード認知情報システム研究室

B-G16 | ユニバーシティパビリオン

近畿大学ハザード認知情報システム研究室です。日常生活で役立つ技術の社会実装を目指し研究しています！

日常生活で役立つ単純な技術の社会実装を目指し研究しています！
モバイルデバイスを中心とし、モバイルプロセッサの開発からアプリケーション応用まで幅広く研究しています。
教員と学生から研究内容の説明をさせていただきますので是非お気軽にお立ち寄りください。共同研究等も検討しておりますので是非よろしく願いたします。…続きは公式サイトへ

クアルコムシーディーエムエーテクノロジーズ

基調講演 | K1-02

『Qualcommが描く産業IoT向けエッジAIソリューション』

グーグル・クラウド・ジャパン

基調講演 | K2-02

『Googleの最新生成AI『Gemini』とAIエージェントによる製造業のAI変革と未来』

組込みシステム技術協会

B-M20 / B-U14 | JASA パビリオン

「創造」をリードするJASA ～「安心・安全・快適」な社会～

組込みシステム技術とIoT・5G・AI等を包括するエッジコンピューティング技術の活用により、様々な産 業分野を跨ぐ協会として、技術の普及・高度化、調査研究、人材育成、ビジネス創出等、広範な業界活動 を積極的に展開しています。

JASA セミナー | J1-02 ～ J1-06

『OpenELが変える組込みシステム開発ーOpenEL対応デバイスの増加と国際標準への提案ー』ほか

グレースシステム / ユビキタスAI

A-D10

組込みシステム開発からクラウド/IoT、サイバーセキュリティ対応までトータルサポート

当社ブースでは、ユビキタスAI社とのコラボレーション展示をします。
機器セキュリティ対策の根幹となるTPMソリューション、セキュリティリスクを早期に発見する静的解析ツール、SBOM（ソフトウェア部品表）生成可能なSCA（ソフトウェア構成分析） ツール、…続きは公式サイトへ

出展社セミナー | E72-02

『欧州無線機器指令(RED)にもセキュリティ要件追加。もう避けられない機器セキュリティ対策』

K-Best Technology

B-U20 | JASA パビリオン

Super TaiRaを中心とした最先端の無線技術をご紹介します

K-Best Technology株式会社は、台湾K-Best Technology Inc.が開発製造したSuper TaiRa無線製品の、日本国内での市場開拓およびお客様サポートの充実化を図るため2023年12月に設立しました。当社は、日本のお客様とともに、高性能なSuper TaiRa無線製品のユースケースを創出し、社会課題の解決や防災・減災につながる無線システムを通して安心安全の暮らしに貢献していきたいと考えております。

コア

B-P04

工場設備保全DXを推進しませんか？

1969年創業の東証プライム市場上場企業。ソーシャル・ソリューションメーカーとしてICTで社会課題を解決し、価値を共創する企業としてSXの実現に取り組んでいます。https://www.core.co.jp

サイバートラスト / リネオソリューションズ

B-M06

まもなくCRA適用開始！ 組込みLinuxセキュリティはお任せください！

サイバートラスト

B-U20 | JASA パビリオン

詳細は公式サイトでご確認ください。

出展社セミナー | E12-04

『スマートホームの新潮流』

CRI・ミドルウェア

B-U20 | JASA パビリオン

音を出す製品（音響製品等）に向けた新技術を2つ開発しました。この2つの製品を中心に紹介します。

「音と映像で社会を豊かに」を企業理念として、主に音声・映像関連の研究開発を行い、その成果をミドルウェア製品ブランド「CRIWARE」として、さまざまな分野に展開しています。
今回、音を出す製品の開発をローコードで開発する開発パッケージ「CRI SOLIDAS suite」、ならびに次世代パワー半導体であるGaNと「CRI D-Amp Driver」の組み合わせによる新世代HiFiアンプをご紹介します。是非、会場にてご確認ください。

STELAQ

B-U20 | JASA パビリオン

ソフトウェアがつなく、豊かな未来

先進のソフトウェア開発から第三者検証、規格適合コンサルティングまで、お客様のソフトウェア品質向上を全面的にサポート。
組込みソフトウェアや業務システムを中心に、高い品質が求められる領域のソリューションパートナーとなることを目指しています。

セキュアイノベーション

C-J08

沖縄から日本、アジア、そして世界へ。情報セキュリティサービスを展開

守るものによって鍵を選ぶように、それぞれにあった情報セキュリティを提案する。
私たちセキュアイノベーションは、「セキュリティ脆弱性診断」と「SOC運用」をメインの柱としながら、様々なセキュリティ製品（SIEM,EDR,EPP,IoT,車載等）の導入・運用でお困りの方への最適な対策をご提案いたします。

Zenken

B-U04

日本語ができるインド工科大学のエンジニアを新卒採用！

経済産業省の試算では、2030年には最大79万人のIT人材が不足と言われていています。海外IT人材に注目が集まる中、日本語や文化への不安から採用をためらう企業も少なくありません。当社は、祖業である教育ノウハウを活かし、「採用」ではなく「定着・活躍」を重視した支援を行っています。インドはIT教育先進国であり、優秀な理系学生が多く、日本語スキル育成にも対応可能です。

出展社セミナー | E12-05

『インド技術者を戦力化する日系企業のリアル』

センチュリー・システムズ

B-D22

IoTゲートウェイ、VPNルータ等、お客様の「繋ぐ」をかなえる製品を取り揃えております。

ソラコム

基調講演 | K2-04

『LLM/VLM選びはスタートにすぎない、エッジAIを本気で動かす設計と実装』

ソルビファイ

B-P08

要件定義を的確、迅速に。

要件定義を自動化するSaaSを提供しています。スキルの高くないユーザでも、AIにより要件定義書等の成果物を効率的に作成。業務要件考慮漏れ防止や業務負荷の大幅な軽減を実現します。

ダイナコムウェア

C-G08

豊富な採用実績を持つフォント・書体シリーズ「DynaFont（ダイナフォント）」の開発/販売

ダイナコムウェアは、アジア最大手のフォントベンダーとして40ヶ国以上のさまざまな国の言語に対し豊富な実績を持っています。基本書体からデザイン書体までバリエーション豊かな200種類以上の日本語書体や60種類以上の中国語書体(簡体字・繁体字)、また欧文書体、タイ語、アラビア語、ヘブライ語、ビルマ語、韓国語などにおいても各種形式で取り揃えた高品位な書体として世界的に展開しています。フォントデザインを通し生命力のある文字で感情と文化を繋ぎ、伝えていくことを使命としています。

たけびし

B-U20 | JASA パビリオン

たけびしは、人と人、技術と技術でお客様、取引先様との新たな“LINK”を創出し続けます

当社の特長は、三菱電機をはじめとした多くのパートナー企業を有していること。そして、最大の強みは、単に製品を販売するだけでなく、ユニット化・システム化により付加価値を生み出す「コーディネート力」と、当社オリジナル製品やシステム開発を用いてソリューションを提供する「技術力」です。産業機器、半導体・デバイス、社会インフラ、情報通信という、幅広い事業分野で多様な課題解決を実行し…続きは公式サイトへ

出展社セミナー | E72-03

『製造業DX時代のOPC活用法とDocker活用ソリューションのご紹介』

立花エレテック

C-J04

立花エレテックではセンシングを気軽にお試しいただけるEGNA（え〜がな）シリーズを展開しています

今回も「繋ぐ」をテーマにリアルデモ展示します！是非ご体感ください
【画像認識AI体験コーナー】画像認識AI技術を用いたジェスチャーゲームを体験頂けます
【センサ導入ツールデモ】開発中のアルゴリズムを搭載したデモ機など、センシングデモ機を数点展示

筑波大学 山際エッジ・コンピューティング研究室

B-G14 | ユニバーシティパビリオン

詳細は公式サイトでご確認ください。

TXOne Networks Japan **基調講演 K1-04** 『製造現場で進むDX&AI活用へ対応！ 素早く、かつ長く使えるセキュリティ対策を今こそ考える会』**DTSインサイト** **A-D20** 見えないものを“可視化”する お客様のニーズを“かたち”にする

私たちDTSインサイトは、車載分野・組込み分野を中心としたお客様の開発を支援するプロダクトやハードウェア・ファームウェア・ソフトウェアの開発受託やエンジニアリング・サービスをご提供しています。車載分野においてはIn-CarとOut-Car双方の開発実績やツール開発の知見をベースに、次世代モビリティの実現を支える具体的なソリューションをご提案、ご提供することでお客様のビジネスをサポートいたします

TDK **A-G28** いつでも、どこでも、あらゆる「現場」で。TDKのSSDソリューション。

TDKは、2025年7月24日(木) から25日(金) までの2日間、グランフロント大阪で開催される「EdgeTech+ West 2025」に出展いたします。産業用SSDの展示及び、ご採用アプリケーション事例の展示(株式会社電産様との共同展示)や、新製品であるローコスト版SSDのご紹介を予定しております。

ディギーク **C-B06** 詳細は公式サイトでご確認ください。**ディジ インターナショナル** **A-S24** インダストリアルIoT/M2Mデバイス、ソフトウェア、サービスの世界的プロバイダ

サブギガ対応LPWA通信モジュール「XBee」、インダストリアル・エンタープライズ向け5G/4Gゲートウェイ / ルータ「IX/EX/TX」、エッジコンピューティングデバイス「ConnectCore」を展示。エナジーマネジメント、公共インフラ/スマートシティ、医療/ヘルスケア、インダストリアル、小売/リテール、輸送/運輸分野でのIoTを実現します。

出展社セミナー | E71-04、E12-03 『マルチプロトコル対応XBee無線通信デバイス最新動向～LTE、LPWA、920/900/868MHz、2.4GHz、メッシュ～』**テクマトリックス** **B-G04** ソフトウェア開発の安全性とセキュリティを担保する：ソフトウェア品質ソリューション

テクマトリックスは、最新のテクノロジーと豊富なサポート経験を活かして、ソフトウェア開発の現場に安全とスピードをお届けします。ソフトウェア開発における生産性と品質向上を可能にする開発支援ツール、セキュリティ脆弱性の検出、クラウド基盤でのCI/CDやDevOps環境整備など各種ソリューションをご提供します。静的解析・単体テストツール「C/C++test」、ファジングツール「Mayhem for Code」、SCAツール「FossilD」、バイナリ解析OSS管理ツール「Insignary Clarity」、SBOM導入から運用まで支援する「SBOMソリューション」をご紹介します。

デンソークリエイト **A-U24** 世界に通じる 「ソフトウェア開発技術」を創造していく。

工数管理・プロジェクト管理ツール「TimeTracker NX」、レビュー支援ツール「Lightning Review」やシステム・ソフトウェア設計ツール「Next Design」など、デンソークリエイトではソフトウェア開発のQCD向上を目的としたWebアプリケーション・ソフトウェア製品の開発・販売を行っています。また、それに併せてソフトウェア開発の現場で求められる技術教育のサポートもご提供しています。

ドヴァ **B-D16** FORGE THE FUTURE「未来を切り拓く」

サーバ構築、セキュリティ、アプリケーション開発、コンサルティング、インフラ整備、機器販売など、幅広いサービスをワンストップでご提供可能です。沖縄県にデータセンターを設置し、BCP対策に対応したディザスタリカバリのご提供も可能です。多様化するニーズへ柔軟に対応し、ICT基盤の業務支援を行わせていただきます。

東光高岳 **B-G08** 組込ソフトウェア向けのUSB、無線LAN等の製品販売や受託開発を行っている会社となります。**東芝情報システム** **A-U04** 組込み機器の進化を支える

組込み製品向けのハードウェアからソフトウェアにわたる開発・商品・サービスにおいて、『長年積み重ねた豊富な経験と実績』、『高度な技術力と強固な組織力』及び『組込み製品に特化した商品・サービス』により、最適なソリューションを提供することで、お客様のビジネスに貢献いたします。

出展社セミナー | E11-05 『Bluetooth® Auracast™を活用した事業創造に関して：機能/アシスタント/送信機アプリのご紹介』**TOPPERSプロジェクト** **B-G24** 高品質なオープンソースソフトウェアと教育コンテンツを提供します

NPO法人TOPPERSプロジェクトは、ITRONを出発点として、組込みシステム開発に有用な各種の高品質なオープンソースソフトウェアと、技術者育成のための教育コンテンツを開発し、組込みシステム開発に新しいスタンダードを提案します。

とめ研究所 **C-J14** **画像認識 AI Expo** 知能情報処理技術をコアコンピタンスとしたソフトウェア研究開発受託会社

とめ研究所は、お客様の研究開発へ貢献する“ソフトウェア研究開発受託会社”です。知能情報処理技術をコアコンピタンスとし、大学・公的研究機関・企業研究所・ベンチャー等と国家PJ応募・共同研究・受託研究開発・技術者派遣で協創し、来るべき“人と機械の共生社会”の構築に貢献します。博士・博士相当のエンジニアが共同研究者のように研究開発の加速推進に貢献します。エンジニアの5割が博士号取得者、8割が博士課程出身です。研究開発、システム開発、組込み制御開発までお任せください。展示では人工知能、機械学習・ディープラーニング、データサイエンスなど得意分野のソフトウェア研究開発実績をはじめ、当社をご紹介します。

Toradex Japan **B-M04** EMBEDDED COMPUTING MADE EASY**日新システムズ** **C-J20** 幅広い産業分野の「あらゆるモノをつなぐ」IoTシステムソリューションを提案します。

社会インフラ・エネルギー・産業機器など幅広い分野において、IoTやAI連携を視野に入れたシステム開発を展開しています。制御・通信・セキュリティ分野で培った豊富な実績をもとに、高い信頼性を備えた技術とサービスを提供し、お客様の多様なニーズに応えます。

ネクスコム・ジャパン **B-M12** 各業界でお使いいただける、高性能でお求めやすいファンレス産業用PCをご紹介します！

低価格で汎用性の高いスマートシティーコントローラ&パネルPCから、インドア&セミアウトドア向けデジタルサイネージプレイヤー、インダストリアル用途向けの小型PC、セキュリティプライアンス向け製品まで、IoT対応のファンレス産業用PC製品を、お求めやすい価格にてご紹介します。

ノリタケ伊勢 **A-S20** 組込み用の各種ディスプレイ製品 (VFD・タッチ液晶・OLED) や デジタルサイネージをご紹介します

◆VFD(蛍光表示管)モジュール ノリタケ発の、高輝度で明るく見やすい表示器。使用温度の幅も広い。
◆高感度タッチ液晶モジュール (別称: GT) 独自の高感度な静電容量式タッチパネルを搭載した液晶表示器。手袋やカバ、水濡れごしでもタッチ操作が可能。
◆OLEDディスプレイモジュール (別称: GE) シンプルなコマンドで制御できる、文字フォントを搭載した有機EL表示器。…続きは公式サイトへ

ノルディック・セミコンダクター **A-S04** IoTアプリケーション向けに低消費電力無線技術を提供

Nordic Semiconductorは、超低消費電力の無線通信技術に特化したノルウェー発の半導体企業です。Bluetooth LEをはじめ、Thread、Zigbee、LTE-M/NB-IoT、Wi-Fiなど多彩なIoT向けソリューションを展開し、世界中で高い評価を得ています。

伯東 **A-K04** テクノロジーと自然環境が共存する豊かな未来を目指して

伯東は1953年の創業以来、最新の情報や最先端の技術をいち早くお客様へお届けする技術商社として、生産の効率化を図る工業製品を生みだすメーカーとして、皆様のご愛顧とご支援により順調な発展を遂げてまいりました。私たちが企業活動を通じて目指している未来は「人と技術と自然環境の共存」です。先進のテクノロジーが人々の暮らし、そして地球に活力と潤いをもたらすことを信じ、より豊かな社会の実現のために邁進していきます。

ハートランド・データ **出展社セミナー | E72-04** 『実機テストをCI/CDパイプラインに組み込んだ話：「実機CT」環境を、ラズパイを活用して短期間・低コストで構築・運用する手法』**バリッジ** **A-U22** ものづくりと現場をつなぐ。AIxノーコードで検査の未来を変える

製造業が抱える人手不足や高度な品質要求に応えるため、私たちは『誰でも簡単に使える先端技術』の実現を追求しています。株式会社バリッジは、ノーコードxAIという革新的なアプローチで、画像検査の現場に新たな選択肢を提供しています。画像検査の内製化を支援し、あらゆる製造現場に導入しやすいソリューションを展開。高性能・高機能でありながら直感的に扱える設計にこだわり、多台数カメラ制御や2D/3D対応、FA機器との統合制御、多品種対応など、現場のリアルな課題に応える開発を続けています。私たちは、ものづくりの未来を足元から支える技術パートナーとして、製造現場の改革と競争力強化に貢献します。

Bee **B-U20** | JASA バビリオン ソフトウェアをインフラに様々なEdgeソリューションからお客様のイノベーションを実現します。

Beeは組込みソフトウェアのスペシャリストです。
組込みソフトウェア開発で培った技術やノウハウを活用した、アプリケーション開発、クラウドサービス開発、研究を重ねたAI技術により、革新的技術を提供し、お客様のイノベーションをサポート致します。

ビッツ **B-U20** | JASA バビリオン 株式会社ビッツは、1971年創業のソフトウェア受託開発会社です。

ICT基盤分野（交通、通信、インフラなど）、先端IT技術分野（IoT、ロボティクス、モバイルなど）、DX推進分野（次世代情報管理、次世代医療、働き方改革など）、衛星・航空・宇宙分野の4つの戦略分野を中心に様々なシステム開発に携って参りました。本展示会では、屋内位置情報システム「あるぞう」を展示いたします。資料請求やデモのご要望がございましたら、お気軽にお問い合わせください。
また、ソフトウェア開発のビジネスパートナー、構想・企画中のサービス（ソフトウェア）の実現方法などにお困りでしたら、些細なことでも構いませんので弊社スタッフにご相談ください。

PTCジャパン **出展社セミナー** | **E71-05** 『AI 駆動のデジタルエンジニアリングによる製造業の革新 ～PTC の最新ソリューションと展望～』

ピュア・ストレージ・ジャパン **B-D12** 詳細は公式サイトでご確認ください。

枚岡合金工具 **B-M16** 文書管理・図面管理・販売管理・生産管理・IoTなど、業務改善と生産革新のソリューションをご提案。

徹底した3S（整理・整頓・清掃）活動から進化した『情報の3S』のツールとして、文書管理・図面管理システムを開発・販売。
さらに徹底3Sで培ったノウハウを活かした文書管理コンサルティングを強みとして展開します。

bubo **B-U20** | JASA バビリオン 知恵と広視野を持ったソフトウェアテストの戦略的パートナー

実行可能な解決策を提供するコンサルタントとしてアジャイル開発プロジェクトに対して総合的なQA活動の支援とのコンサルティング業務を提供しています。

プライムゲート **C-G04** プログラミングによるLSI設計開発の最先端を進む“匠のエンジニア集団”、プライムゲート。

ブラックス **C-G22** 電子機器の試作開発から量産まで一貫体制でサポートします

受託開発事業・・・東京都府中市にて電子機器の開発～量産まで自社内完結の工程でサービスをご提案致します。
カメラ開発事業・・・これまで培った画像処理技術より産業用カメラのカスタム開発を得意としています。
カメラ販売事業・・・自社開発カメラの開発、製造、販売を行っています。・・・続きは公式サイトへ

ブラック・ダック・ソフトウェア **A-M08** ソフトウェアのサイバーセキュリティ対策と国際標準や規制に対応したソフトウェア開発を支援します

ブラック・ダックは、モダン・ソフトウェアの経営レベルのリスクに対応し、規制された、AIを活用した世界におけるソフトウェアの信頼性を保証します。ブラック・ダックのソリューションは、セキュリティ、規制、ライセンスに関するリスクを排除しつつ、組織のスピード、精度、コンプライアンスのトレードオフから解放します。クラウドでもオンプレミスでも、コードが実行されるあらゆる場所でミッション・・・続きは公式サイトへ

出展社セミナー | **E11-04, E12-02** 『SBOMで備える！脆弱性リスクと規制強化への対応戦略』ほか

ベクター・ジャパン **B-D06** ミッションクリティカル分野のソフトウェア開発者に、先進的な開発環境を提供していく。

自動車開発分野におけるデファクトスタンダードとなっているベクターのソリューションは、商用車、建機、農機、航空宇宙（アビオニクスネットワーク、ハイブリッド電動航空機）、鉄道、輸送、医療機器、産業機器（インダストリー4.0、IIoT）など、他のミッションクリティカル分野の多様なニーズにも対応しています。お客様の期待に応え、共に課題を解決していくことが、我々のモチベーションであり、原動力です。

出展社セミナー | **E72-05** 『革新的な組み込みシステムテスト環境を提案！開発環境と自動テストソリューション -MQTT, DDS, BLE, UWB-』

丸文 **A-K20** 世界と、かなえる。

当社グループは、「テクノロジーで、よりよい未来の実現に貢献する」というパーパスのもと、独自の価値を提供するオンリーワンのエレクトロニクス商社として最も信頼される存在となることを目指しています。

Moxa Japan **A-U20** Moxaの技術が産業を守り、発展させ、人と未来をつなぐ

産業用ネットワークと通信のエキスパートであるMoxaは、信頼性と耐久性に優れたシリアルデバイス接続から、産業用イーサネットの安全な接続、エッジツークラウド接続の統合に至るまで、産業オートメーション向けのあらゆる重要な接続性は、もはや速度という価値を提供するだけでなく、人々の生活をより安全でよいものにすると理解しています。Moxaは、37年以上にわたり世界中で1億200万台を超えるデバイスを接続し、最先端のコネクティビティ、産業用コンピューティング、通信ネットワークによるデジタル変革を推進し、現在そして将来の産業オペレーションをよりスマートに安全で効率的にすることで、継続的な価値を提供。

ユーバー **C-G20** 『最適小型エンクロージャー(筐体) 設計と生産対応』

当社は1977年創業以来、産業用組込みコンピュータに関連する筐体(シャーシ)、フロントパネル等をカスタム対応して参りました。
昨今、多用化するコンピュータ用カスタム筐体検討にあたり、お客様のご要望に応じて簡易熱性能シミュレーションソフトウェア(Ansys Discovery)を活用し、冷却構造のカスタムケースの設計、製造も可能です。
当社展示ブースでは、IT技術に関連する電子機器用筐体のカスタム品サンプル事例（熱対策、密閉構造、組込み、軽量化など）を多数展示致します。

立命館大学 マルチメディア集積回路システム研究室 **B-G12** | ユニバーシティバビリオン

マルチメディア集積回路システム研究室 (熊本研究室)です。大学ならではのアイデアで展示中です！

リネオソリューションズ **出展社セミナー** | **E71-02** 『CRAの適用開始目前！組込みLinuxのSBOM/脆弱性管理を解説』

Rubyビジネス推進協議会 **A-S08** Rubyを日本初のスクリプト言語として、IT業界へ普及させてゆくことを目指して。

Rubyは、日本のまつもとゆきひろ氏により開発されたオブジェクト指向スクリプト言語であり、名称のRubyは、プログラミング言語Perlが6月の誕生石であるPearl（真珠）と同じ発音をすることから、同様に誕生石（7月）のルビーを取って名付けられた。
当協議会では、Rubyに関わるビジネスマッチング及びその普及を目的とし、最新の技術情報の交換、情報共有、人的交流、行政機関へのRuby活用提言、普及啓発に関わることを企画する団体である。

連基 / Geniatech **B-G20** 共創するパートナーとしてお客様のサービス成長の原動力となるソリューションを提供

本年も最新のインテルCPUを搭載した組込みシステムを数多く手がける「連基」とARMアーキテクチャ製品を数多く開発・製品化している「Geniatech社」と共同出展いたします。
FA、IoT、エッジAIシステム構築に最適な各種デバイスに加え、ARMアーキテクチャを採用したRaspberry Pi互換のSBCなど多数出展いたします。

渡辺電機工業 **A-M14** 省エネと計測の『見える化』をリードする問題解決企業



新任ご挨拶 役職理事および支部長就任にあたって

専務理事(ET事業副本部長、ET企画委員長、政策提案委員長) 山田 敏行



この度、専務理事の大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。

組込みシステム業界は、AIや仮想化技術の進化により、保有する従来技術だけでは対応が困難な時代を迎えています。この変革を好機と捉え、私たちJASA会員企業が先進技術を使いこなし、メーカーに新たな価値を提供できる開発パートナーへと進化することが、求められていると考えます。

しかし、個々の企業が独力でこの変化に追従するのは容易ではありません。そこでこの度、「JASA改革プロジェクト」を立ち上げ、業界団体として先進技術ナレッジの共有や技術者育成といった具体的な支援を通じて、会員企業の皆様の変革を強力に後押しできる「仕組みづくり」を推進してまいります。

JASAが業界をリードし、「組込みソフトウェア開発のプロフェッショナル集団」としての役割を果たせるよう、精一杯汗をかいていきたいと考えております。

今後とも、皆様の力強いご支援、ご協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

理事・JASA改革プロジェクト 副プロジェクト長 権藤 正樹 イーソル株式会社



この度、皆様のご支援のお陰で理事を務めさせて頂くことになりました。どうぞよろしくお願い致します。

組込みシステム技術は、これからの世界にとってもより重要性を増していく技術です。特に組込みソフトウェア技術は、日本の土台であるモノづくり産業においてSDVを筆頭としたシステムのソフトウェア化に伴い、日本の未来を左右する、最後の砦と言ってもよい重要な領域と考えています。

組込みソフトウェア産業の課題として、比較的小規模の企業が多く、ビジネスもどちらかというと余り上手ではなく、各々が孤軍奮闘しつつ、一部を除いては伸び悩んだり、衰退してしまっている事があると思います。日本の未来を決めるコア技術である組込みソフトウェアが、このままで良いはずがありません。

幸運なことに、渡辺副会長がリーダーを務めるJASA改革プロジェクトの副プロジェクト長を務めさせて頂くことになりました。日本の組込みソフトウェア技術を更に進化させ、モノづくり産業の革新を生み出すための改革をスピード感をもって取り組んで参ります。皆様のご理解、ご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

理事・国際交流委員長 齊藤 浩一 株式会社インサイトワン



このたび、国際交流委員長を拝命いたしました、齊藤浩一と申します。

私は入会以来、約15年にわたり国際交流委員として活動してまいりました。委員会活動を通じて得られる情報や、海外の協会・機関との交流事業は非常に興味深く、常にワクワクしながら取り組んでおります。

今では「何事も長く続けることが大切」が信条となり、継続することこそが私の唯一の長所であると自負できるようになりました。

近年、JASA会員のグローバル化は、人材・技術・ビジネスと多岐にわたり、オフショア開発から、国際市場への進出へと大きく変化しています。こうした変化に対応するため、委員会としてJASAビジョン2030のもと変化に対応する活動を展開していく必要があると考えております。今後も、会員企業の皆様と、協会全体の発展に寄与できるよう、微力ながら尽力してまいります。引き続き、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

理事・人財交流委員会 副委員長 国本 一宗 TDIプロダクトソリューション株式会社



本年度、人財交流委員会の副委員長になりましたTDIプロダクトソリューション株式会社の国本と申します。

人財交流委員会では以下3つの事業方針のもとで活動しています。

- ・ 会員の新卒求人活動支援
- ・ 学生の業界認知度の向上
- ・ 会員の管理者・幹部候補育成支援と人財交流

組込み業界に限った話ではございませんが、日本は少子高齢化が進み労働人口が減少しているという厳しい状況になっており、その状況を少しでも改善・解決していくためにも業界の認知度を向上させ、本業界の人財を増やし、会員企業様の新卒求人活動を支援し、人財を育成し交流を増やすことで会員企業様のビジネス発展と組込み業界の発展に寄与できるよう努めますので、ご指導・ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

理事・北海道 副支部長 / コモングラウンド委員会副委員長 岡田 大和 デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社



このたび北海道副支部長を務めさせていただくことになりました。

他の支部や委員会と連携し、これまで北海道支部では実施されていなかった形のイベントや交流の機会を作っていければと思います。コモングラウンド委員会の副委員長という立場も兼任させていただきますので、支部と委員会の橋渡しとなり相互にメリットになるような動きを目指します。支部の活動を活発化させることで支部会員数の増加を目指し、会員どうして新たなビジネスの創出まで繋がっていければと思います。

北海道は土地が広いですが、札幌近郊の企業だけではなく北海道全域の企業が集まってくるような支部にしていきたいです。

北海道という地にオフィスを持っている企業が参加したい!と思えるような支部を目指して盛り上げていきますのでこれからどうぞよろしくお願いいたします。

東北支部長 堀内 忠夫 株式会社コア



この度、東北支部長に就任いたしました株式会社コアの堀内でございます。身に余る重責を担うこととなり、身の引き締まる思いでございます。前任者でおられる水野様の東北支部への想いを引継ぎ、更なる発展に全力を尽くす所存です。

就任の抱負といたしまして大きく2つ「支部会員の増加」「支部会の活性化」を掲げてまいります。岩手県・盛岡市ならびに宮城県・仙台市での共同セミナー・交流会を開催し、支部会員同士の交流だけでなく若者とも交流を図り会員増の契機としてまいります。また他支部とのコラボレーションを念頭に国内視察を企画し、視野を広げるとともに会員企業の事業発展に寄与いたします。

市場の環境の変化が激しい近年において組込業界が更なる発展を目指すには、先を見据える力と確かな実行力がこれまで以上に求められると思っています。私はこれらを胸に抱き、会員の皆様と共に新たな一歩を踏み出して参ります。

理事・関東支部 副支部長 森下 栄治 株式会社インテック



皆様、こんにちは。このたび、関東支部副支部長に就任いたしました、株式会社インテックの森下栄治です。まずは、このような重要な役割を担う機会をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

これまで、技術本部の皆様と連携し、委員会活動を通じて、2024年のEdgeTech+へのデモ出展などに携わってまいりました。JASAの活動を通じて得られる技術的知見や人的ネットワークは、企業の枠を超えた価値を生み出すものと実感しております。

インテックはJASAファミリーの一員として、今後も仲間の皆様とともに協会活動を盛り上げてまいりたいと考えております。JASAとのつながりをさらに強化し、特にミドル層の技術者同士の交流を活性化させることで、次世代の技術力向上と業界全体の発展に貢献したいと考えております。微力ながら、支部活動の一助となれるよう尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

理事・近畿支部 副支部長 橋本 知宙 株式会社ハネロン



このたび、第39回社員総会におきまして理事に選任いただきました株式会社ハネロンの橋本と申します。当社は電子機器の製造業でソフトウェアおよびハードウェアのエンジニアが社業に従事しています。

昨今、人件費や物価の上昇が続いており、特に中小企業の経営環境は厳しさを増しています。自社の発展が一番の解決策ですが、そのためには業界全体が日本経済の活性化に大きく寄与する必要があると考えています。

現在、JASAでは「JASAビジョン2030」の実現に向け会長をはじめ多くの方がご尽力されていると聞いております。また、改革プロジェクトにおける「業界変化への追従」はJASAがリーダーとなり会員企業が新しいビジネスを創出するための布石になると期待しています。今年度から甚だ微力ではありますがこれらのJASA活動に貢献し、職務を通じてJASAの発展と共に自身の成長にもつなげるよう努力して参りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

理事・九州支部長 白井 恵 株式会社メック



皆様はじめまして。福岡の電子機器メーカー、メックの白井(うすい)と申します。私どもは1973年の設立から30年以上、ブラウン管の検査機器メーカーとして運営をしてまいりました。高電圧、アナログ回路の技術を持っていたことで評価をいただき、国内外の多くのブラウン管・テレビメーカー様に装置を納入することができ、それが現在の会社の基礎となっております。

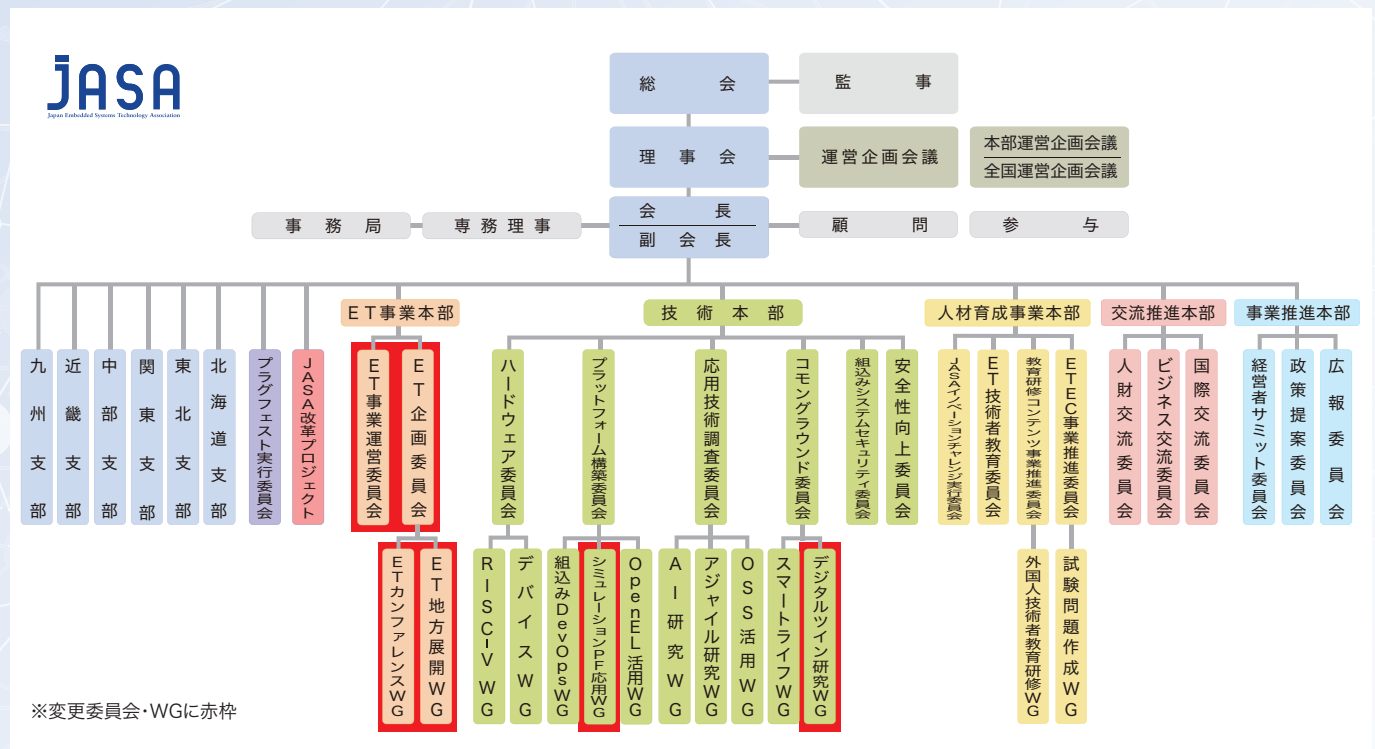
現在は、電子部品や基板のオープン・ショート検査装置、ナノファイバーの紡糸装置、ケーブルテレビ局向けの放送機器などを開発・製造しています。

私自身は入社以来、ずっと営業専門でやってまいりました。組込みシステムの技術のことはもちろん、業界のこともほとんど知らないうちに、ぜひ先輩方に教を乞いたいと思い、2023年12月に入会させていただきました。およそ1年半前のことです。

そうしたところ、今回、九州支部長という大役を突如仰せつかることになりました。まさに青天の霹靂でありましたが、拝命したからには、JASA、九州支部の皆様のお役に立てるように精一杯努めてまいりたいと思います。

ご指導のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

組織改編について



ET事業本部の組織変更について

ET事業の運営効率化を推進するため、明確な役割に基づく委員会構成に再編します。

- 本部配下に、「ET企画委員会」と「ET事業運営委員会」を新設
- 「ET企画委員会」配下に、「ETカンファレンスWG」と「ET地方展開WG」を設置

従来のET展示会事業運営を、ET展示会企画と事業運営に分割し、役割を明確にすることにより、事業変革を推進するための最新技術とつながる総合展として、さらなる発展に向けた企画と運営を効率化し加速していきます。

ワーキンググループは、活動の実態に即して、重点的な取り組みを行っている「ET地方展開WG」と「ETカンファレンスWG」の構成として、「ET事業運営委員会」配下に配置しました。これにより、重点領域へリソースを集中し、より効果的な活動体制としました。

なお、「ET企画委員会」は、JASA会員企業からの幅広いメンバーを募り、組込み業界の新たな成長戦略を具現化すべく会員企業の英知を結集した企画検討をさらに拡大します。

技術本部のコモングラウンド委員会 及びプラットフォーム構築委員会の組織変更について

「コモングラウンド委員会」のワーキンググループ新設について

組込みシステム業界におけるデジタルツイン技術の普及と発展を目的として、「デジタルツイン研究WG」を新設いたします。本WGでは、会員企業との連携を強化し、共同でのプロジェクトや研究活動を通じて、デジタルツイン技術の社会実装と実用化を推進してまいります。主な活動内容は以下の通りです。

- OSS(オープンソースソフトウェア)を活用したデジタルツインデモの開発
- インフラ協調型のロボット制御における、エッジ側の必要条件や技術的課題を調査研究
- 展示会への出展を通じた、JASAにおけるデジタルツイン関連の取り組みを広く社会に発信
- デモ環境のオープン化および会員企業が自由に活用できる基盤整備を通じ、業界全体の技術力向上への貢献
- デモの開発・運用といった実践的な活動を通じた、WGメンバーおよび若手エンジニアの技術スキル向上と人材育成

「シミュレーションPF応用WG」の設置について

「ドローンWG」の今後の活動の方向性として、ドローン技術にとどまらず、さらに広義の組込みシステムシミュレーション技術全般を対象として活動するために、「ドローンWG」を「シミュレーションPF応用WG」に刷新し、「プラットフォーム構築委員会」配下に設置することにしました。これにより、シミュレーション技術を軸とした、安全検証やサービス検証をするための仮想環境実現を推進します。

仮説検証ブートキャンプ

～VUCAワールドを制する短期集中トレーニング～

2025年度 開催決定

皆さまのご参加をお待ちしています。

主催：組込みシステム技術協会

共催：人間中心設計推進機構、人間中心社会共創機構

企画・運営：仮説検証ブートキャンプ実行委員会

昨年度EdgeTech+2024で開催いたしました「仮説検証ブートキャンプ」が好評につき、本年度も開催する事が決定いたしました。このイベントは、一般社団法人組込みシステム技術協会(JASA)と、特定非営利活動法人人間中心設計推進機構(HCD-Net)・一般社団法人人間中心社会共創機構(HCS共創機構)の共同プロジェクトであり、仮説検証プロセスを通して「HCD(Human Centered Design: 人間中心設計/人間中心デザイン)」の必要性や、HCDの手法を通して仮説検証の実践プロセスを学ぶことを目的としております。

本プログラムは、VUCA(Volatility:変動性、Uncertainty:不確実性、Complexity:複雑性、Ambiguity:曖昧性)の時代にあって、「仮説検証」といったアプローチを通じて、新しい仮説・アイデアや解決策を創出しては検証する、といった習慣を身につけるための「人材育成の機会」であり、「実践手段を学ぶための機会」です。

プログラムでは、人間中心設計推進機構が認定するHCD専門家が全面的に協力し、2025年11月21日(金)にパシフィコ横浜で開催予定の「EdgeTech+2025」(JASA主催)での「企画プレゼンテーション」に向け、8月から9月にかけての「仮説検証の知識習得」(オンライン学習/HCD基礎検定認定の仮説検証ブートキャンプ検定)、10月から11月にかけての「実践形式ワークショップ」(計3日間のリアルワーク)などを提供して参ります。

本プログラムは、JASAの会員企業の方々だけでなく、広く関係先の企業の方々にも、参加いただくことが可能となりました。

参加申込みの為の説明会の内容は、下記サイトに掲載しております。

・公式サイト

<https://hv-bootcamp.biz/>

・開催告知・説明会ダイジェスト

<https://hv-bootcamp.biz/announcement/>

■仮説検証ブートキャンプの参加対象者：

プロジェクトマネージャー、プロダクト開発チーム、アジャイル開発チーム、ソフトウェアエンジニア、マーケティング担当者、人事・組織開発担当者、経営者・幹部の皆さま
※業種、役職問わず活用できます。

主な受講内容

1.仮説検証の知識習得(8月～9月/オンライン)+HCD基礎検定受験

- ・オンデマンド教材(テキストおよび映像)での自主学習
- ・HCD基礎検定受験(オンライン試験)
- ・検定合格者が仮説検証ブートキャンプの参加資格を取得
- ・合格者には「合格証」と同時に、「デジタルバッジ」を付与



2.実践形式ワークショップ

(10月～11月/対面&オンライン)3日間

- ・ペルソナシート
- ・インタビューシート
- ・共感マップ
- ・ストーリーボード
- ・アクティングアウトなどを使って仮説検証を繰り返し、問題解決に挑みます。

本年度は、昨年の経験も踏まえ、さらに仮説検証の繰り返しを明確にするための新たなオリジナルツールとして【仮説検証キャンバス】を開発しています。

全3回のワークショップで3回の仮説検証を繰り返すことでアイデアのブラッシュアップを図ります。実務に役立つソリューションツールとして皆さまにご提供いたしますのでご期待ください。

- ・仮説検証キャンバス(仮)

現状 (AsIs)	現状 (AsIs) の課題と改善方針	理想 (ToBe)	検証	検証の課題と改善方針
目的・課題		目的・課題	1st. solving out	
利用客		利用客	2nd. solving out	
仕組み		仕組み	3rd. solving out	
環境・利用		環境・利用		

3.企画プレゼンテーション

(EdgeTech+2025:11月21日(金)午後/パシフィコ横浜)

審査委員長／

慶應義塾大学大学院

システムデザイン・マネジメント研究科

白坂 成功 氏

■主催：

一般社団法人組込みシステム技術協会(JASA)
<https://www.jasa.or.jp/>
EdgeTech+2025関連イベント
<https://www.jasa.or.jp/expo/>

■共催：

特定非営利活動法人人間中心設計推進機構(HCD-Net)
<https://www.hcdnet.org/>
一般社団法人人間中心社会共創機構(HCS共創機構)
<https://hcs-cc.org/>

■後援(予定)：

経済産業省、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)、デジタル庁

■企画・運営：

仮説検証ブートキャンプ実行委員会
委員長／JASA副会長 株式会社エクスモーション
代表取締役社長 渡辺 博之 氏

■参加費(税込)：

- ・Aプラン:33万円(5名まで参加)
- ・Bプラン:22万円(3名まで参加)
- ・Cプラン:11万円(1名まで参加)

■スポンサー費：

- ・参加チームの各プランに「11万円(税込)」を追加
- ・特典)ロゴのウェブ掲載、教材を社内利用可、ほか特典を検討中

■詳細は随時更新いたします。

参加申込方法：下記のウェブサイトをご覧ください。
申込期限は8月8日(金)17:00となっております。
<https://hv-bootcamp.biz/>

【仮説検証ブートキャンプ事務局】 お問い合わせ先：info@hv-bootcamp.biz

技術本部成果発表会 開催報告

技術本部の活動をご理解いただくことを目的に、各委員会・WGが2024年度に実施した調査研究とその成果等を発表しました。

日時 2025年5月15日(木) 13:00~17:30
会場 豊洲ベイサイドクロスタワー(東京都江東区豊洲)
開催形式 会場及びオンラインでのハイブリット開催

成果発表会の講演資料は、協会HP「公開資料」に掲載しています。 https://www.jasa.or.jp/archive/reports_technical/

審査総評

最優秀 コモングラウンド委員会

2024年度活動振り返り(デジタルツインの調査研究)

インフラ協調型のロボット制御が重要

ロボット側に機能を追加するアプローチ

インフラ協調型を活用するアプローチ



- 各ロボットに「死角」が発生する
- 協調動作には高度な通信・処理が必要
- ロボットの長機能化→コスト高
- 現場の「共通認識」を確立できる
- 柔軟なコミュニケーションが可能
- ロボットは最低限の機能で動作→コスト減



発表者:
委員会委員長
国井 雄介

審査コメント

- 積極的な情報発信デモの構築など活発な活動で評価できる
- 活動の説明が分かり易く理解しやすかった。センサーデータ活用は社会課題解決に有用と思われるので、ビジネスサイド(ユーザー・自治体)との連携を進めて頂きたい
- ビジネスも視野に構想はどんどん広がっている
- 社会のデジタル化のキーファクターに取り組みされており、受動組込み界隈からのシフトのチャンスになる事を期待しています

優秀 ハードウェア委員会 RISC-V WG

5. 開発ロードマップと実績

Development schedule for last 5 years

《過去5年間の活動》

2020-22年度
・32ビット版(Arduino)/64ビット版(LINUX)RISC-VコアFPGA実装
・産学連携
・成果のWeb公開

2023-24年度~
・JASRA版RISC-V SoC開発
・ターゲット:セキュアIoTエンジン
・オープンシリコン開発環境の活用
・ボード作成、RTOS実装
・IoTクラウド接続

FPGAベース
市販FPGA評価
ボード: Arty A7
35T:32/Arduino
100T:64/LINUX

カスタムLSI(SoC)ベース
eFabless
chipignite



発表者:
WG主査
小檜山 智久

審査コメント

- 東京都立産業技術研究センターと連携など、活動の場の広がりが見られてよい
- RISC-Vは海外でも注目されており、WGの成果を産業界にどう展開していくのか方針や戦略まで合わせて述べられておりより深みがある発表になると思う
- RISC-V界隈で一定の評価されているのは良い点
- eFablessがビジネスをやめたら、この後の進め方はどうするのか

優秀 プラットフォーム構築委員会 Open EL活用WG

2025年5月現在の対応デバイスと実装例

対応デバイス

- モーター(速度制御、位置制御、トルク制御)
- ジャイロセンサー
- トルクセンサー
- 加速度センサー
- 地磁気センサー
- 距離センサー
- カメラ
- 温度センサー
- 湿度センサー
- 気圧センサー
- 二酸化炭素センサー
- カラーセンサー
- タッチセンサー
- 電流センサー

実装例

- 二足歩行ロボット: UTRX-17
- M5Stack Fire/BALA/BAL2
- LEGO Mindstorms NXT/EV3
- LEGO SPIKE
- NVIDIA JetBot
- IoT-Engine RZ/T1 SEMB1401
- Raspberry Pi Mouse
- 他



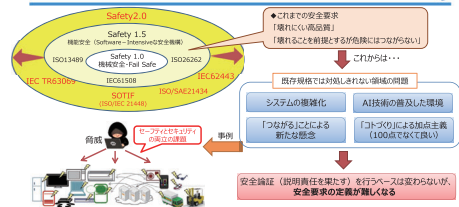
発表者:
WG主査
中村 憲一

審査コメント

- 一般の普及方法を再考すべき
- 地味だが着実に進んでいる。今後も頑張って欲しい
- 国際標準化は重要な活動であり、期待します
- 活動目的と成果が明確 今後は国際基準に関わらずもっと民間で普及活動に注力すべきでは

特別賞 安全性向上委員会

1. 活動概要 ~なぜ安全性の向上が必要なのか?~



発表者:
委員
小水 元

審査コメント

- 1日枠でのリアルハンズオンは大変かも知れませんが、継続すべき
- 目指す状態をより具体化・定量化できると活動の意義や成果がわかりやすくなると思う
- 全体に平均的、記事の見出しになるようなインパクトが欲しい
- 2年連続黒字を評価
- 組込みシステムにおける永遠のテーマであり、技術と環境の変化に応じて組込みをUPDATEいただいております、たいへん感謝します

発表概要

組込みシステムセキュリティ委員会

改ざん検知・瞬間復旧の利点



発表者：
委員
岡田大和

審査コメント

- 可能性とレジリエンスを重視して優れたコンセプトが示されたと認めます
- 証拠保全機能があると嬉しいです
- 改めてセキュリティ対策の難しさ対策の優先順位が正入りされて良く伝わりました。具体的なデモまで実現でき良かったです

- ▶挨拶に立つ竹内嘉一会長
- ▼リアル会場での発表の様子



応用技術調査委員会 OSS活用WG

OSS-WG OSSハンズオン

テーマ エッジデバイスプロトタイプングで深めるOSS活用WG

概要 従来の電子のみで完結する開発環境ではなく、エッジデバイスを用いたハードウェアとソフトウェアの連携による開発環境の向上を目指す

実施方式 各社の持っているコア技術と企業の特長を踏まえチームを編成し、エッジデバイスを利用しながらチームで定めたテーマに基づきワークショップ形式(全5回程度)で実施

- 実績
- 2025年度 全4回開催・報告会の予定で、実施中
 - 2024年度 全4回開催・報告会実施。参加者7名、3チーム編成
 - 2023年度 全4回開催・報告会実施。参加者8名、3チーム編成
 - 2022年度 全4回開催・報告会実施。参加者9名、3チーム編成
 - 2021年度 全4回開催・報告会実施。参加者9名、3チーム編成



ワークショップの様子
企業間でチームを編成し、ハンズオンに取り組む

2021年度は製品開発のメインでOSSを活用したハンズオンで開発・検証を行う機会があった

報告会の様子。発表者と参加者が交流している様子

2023年度は4回開催のOSS活用WGハンズオンでエッジデバイスに関する開発・検証を行う機会があった



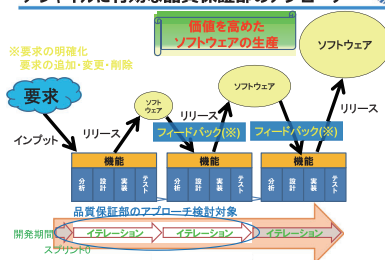
発表者：
WG主査
竹岡 尚三

審査コメント

- 地味だが貴重な活動
- OSSの重要度は高まってきているので、少人数で大変だとは思いますが期待しております
- まとまっているが、内容自体は特に目新しさを感じなかった
- OSSのH/Wへの取り組みは夢があると思います

応用技術調査委員会 アジャイル研究WG

アジャイルに有効な品質保証部のアプローチ



発表者：
WG主査
水谷 紘也

審査コメント

- エンタープライズでのアジャイル開発の品質保証の取組みは各所で行われているので、そういったものも参照・連携を検討いただくと良いと思います
- 品質保証部署との連携に関して議論が進んだ印象
- 活動の多さは素晴らしいが最終的に得られた知見をもっとうまくまとめて欲しい

応用技術調査委員会 AI研究WG

生体認証を用いた入室管理システム



発表者：
WG主査
中村 仁昭

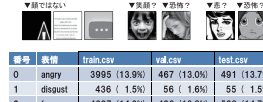
審査コメント

- 生成AI/AOI注目度も高い分野。着実に進んでいることが確認できた
- AIは注目が高く、技術的に面白いことをやっていると思うがビジネス視点での目標や成果を語れると活動の有用性が高まると感じます
- 組込み生成AIに関する諸研究テーマに取り組んだものと理解
- AIの進化が早い中トレンドのキャッチアップは有益な活動と思えます

コモングラウンド委員会 スマートライフWG

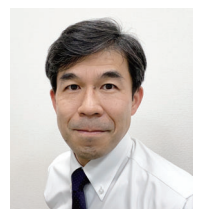
FER2013データセットについて

- disgust (うんざり) はデータ数が圧倒的に少ないので、学習精度が落ちている可能性あり。
- Fear (恐怖) は angry (怒) や sad (悲) と区別しづらく、表情に出る恐怖を感じる状況がまれ。(あつら防犯などに使える??)
- 中には顔ではない画像や、正しく分類されていないものもあった



番号	感情	train.csv	val.csv	test.csv
0	angry	3995 (13.9%)	467 (13.0%)	491 (13.7%)
1	disgust	436 (1.5%)	56 (1.6%)	55 (1.5%)
2	fear	4097 (14.3%)	496 (13.8%)	528 (14.7%)
3	happy	7215 (25.1%)	895 (24.9%)	879 (24.5%)
4	sad	4830 (16.8%)	653 (18.2%)	594 (16.3%)
5	surprise	3171 (11.0%)	415 (11.6%)	416 (11.6%)
6	neutral	4965 (17.3%)	607 (16.9%)	626 (17.4%)
合計		35887	28709	3589

FER2013データセットのデータ数



発表者：
WG主査
吉栖 孝弘

審査コメント

- 商品としての販売を期待します
- ユニークな活動なので、継続し、進化させてほしい
- 画像認識は世の中に多数システムが有るので、そういったシステムからノウハウを探すのも手かと感じました
- 技術を日常のテーマに応用する発想はいいと思います
新しいモデルへの対応も良かったです

科学技術分野に特化したソフト開発で半世紀に及び社会貢献 高度技術を養った100名超のエンジニアが顧客とビジネス推進

この4月からJASAに入会いただいたシステム計画研究所（東京都渋谷区）。1977年に設立、まだ一般的ではなかったソフトウェア開発事業を展開、およそ半世紀に及び社会への貢献を続けている。営業部隊を持たずエンジニア自ら顧客のビジネスを推進する体制は、設立から一貫したスタイルだ。受託開発を軸に、自社製品・サービス事業も成長に向かっていく。渋谷区の本社を訪ね近況をうかがった。

取締役 事業本部長 稲荷 和典氏



エンベデッド事業は FPGA・H/W・組込みの3軸

ソフトウェア開発の技術者集団である。科学技術分野に特化した開発を担い、現在100名を超えるエンジニアが宇宙事業や画像処理、ロボティクス、医療などの応用分野にデータサイエンス、AIの技術要素を取り入れ開発に勤しんでいる。営業部門は持っており、それが設立から48年一貫した体制になる。

「当時は“ソフトウェア開発ができます”という一定の需要があったのでしょう」と話す取締役事業本部長の稲荷和典氏。「48年前という日本ではソフトウェアがまだ一般的ではない頃、営業に特化した部署を置かなくてもそれなりに回っていたという時代背景があったと思います。エンジニアが直接お客様と接するスタイルを続けていますが、自前主義というかとりあえず自分からやってみようということで今に至っています」と説明する。

もともとは受託開発が事業の柱。並行して20年ほど前から自社製品の開発に取り組みはじめた。「今は受託開発が7割、製品事業が3割という割合です」（稲荷氏）ということで、ひとつの柱になりつつある。

6つに分かれた事業ユニットが同社の事業領域。組込み開発もそのひとつになる。そ

の概要について、エンベデッド事業ユニットサブマネージャの天津宗義氏は「ユニット名称であるエンベデッドは、ハードウェア寄りの部分からソフトウェアに近い部分まで、両者の融合も含めひと通り幅広く対応しているという意味合いを込めて用いています」と話す。

FPGA、ハードウェア設計、組込みの3つの軸がある。「FPGAは高位合成を使用した開発で、数理的なアルゴリズムのオフロードやリアルタイム信号処理に用いています。ハードウェア設計は高位合成ツールSIEMENS EDA Catapultでの開発や、ESLツールSynopsys Platform Architectを使って半導体の回路動作など再現できるシミュレータを開発しています」（天津氏）。

組込み事業ではコミュニティや製品開発を展開する。「ROS2のリアルタイム化は検討初期段階からコミュニティに参加していて、オープンソースの自動運転ソフトを開発するティアフォー様と協業開発でCARETというROS2アプリケーション専用のパフォーマンス測定ツールを提供しています。またREEL SSという独自に開発したAI技術をFPGAにオフロードした製品開発などがあります」（天津氏）と紹介してくれた。

AI、データ解析で価値を高める 開発アプローチ

ほかの事業ユニット概要は次のようなものだ。

●IVA戦略事業ユニット 「映像・画像を用いたAIソリューションで、外観検査ソリューションがひとつの柱。主に製造業のお客様向けに、カメラで工場のライン等を撮影して検査を行う不良品検査が中心です」（稲荷氏）。自社製品のgLupeを製造業をはじめ様々な業種に展開する。IVAはIntelligent Video Analyticsの略。

●医療事業ユニット 医療分野はかなり以前からシステム開発に携わっている分野だという。「近年はクリニックと中核病院や病院間など地域医療連携に力を入れていて、自社製品としても展開しています」（稲荷氏）オンライン面会システム、地域医療機関をつなぐ基盤システムや予約サービスを提供。ほかにも慢性腎臓病・糖尿病診療支援ビューアなど製品化実績がある。

●宇宙ロボティクス事業ユニット 宇宙事業も早くから着手してきた分野で、古くは衛星画像の解析などに関わっていたという。「最近では民間での宇宙開発など日本でもかな



▲事業に関連する技術展示会には積極的に出展し技術力をアピール。
新たな案件獲得につながる絶好の機会となっている

エンベデッド事業ユニット サブマネージャ 天津 宗義氏



り動きが出てきた宇宙ビジネスの支援や、ロボティクスの切り口から月面ローバーの開発支援などをおこなっています」(稲荷氏)

●CLI事業ユニット 「ネットワークとAIの技術を活用していろんなお客様に活用していく」(稲荷氏)とするユニットで、創業やケミカル、農業などへ応用している。もともとLLMに取り組んでいるユニットでもある。CLIはCommunication Life Intelligenceの略。

●アプリケーション開発事業ユニット 開発技術を軸に展開するユニットとして「最近ではWEBアプリケーション、アミューズメント系のハード制御など展開しています」(稲荷氏)。各ユニットの開発支援もおこなっているユニットという位置づけだ。

基本的な開発技術をベースにAI、データサイエンスで付加価値を高めるアプローチを実践する。これらユニットは独立したものではなく、事業全体を構成する一部となる部門というイメージだ。エンジニアがユニットを横断して業務を進めるケースもある。制御の部分は組込み技術がオーバーラップする。たとえば月面の放射線環境下で活動する月面ローバーは放射線対策が不可欠だが、FPGAはその耐性が高い。天津氏は「ロボティクスのユニットにはFPGAを担当している人はいないので組込み側で対応するなど連携するケースもあります」と話す。

取引先との関係は「下請けというよりは、

ビジネスパートナーと一緒に提案をして新しいことを実現していければ」と稲荷氏。自社製品やサービスもそうした視点から生まれている。また、回転すしチェーンのスシローにおける分散型エッジAIソリューションを用いた自動会計システムなど、企業に特化したシステム開発例もある。

なお製品や技術の詳細は情報公開サイト「技ラボ」(<https://wazalabo.com/>)を参照いただきたい。

マーケットをリードする マインド育成を重視

各事業ユニットは10～30名のエンジニアが所属している。毎年少数に絞る採用は、新卒者メインで全員が理系出身者。国立大学や人気私大として名前が挙がるような大学出身者が多いのも特長と言えそうだ。

新人研修として6ヵ月間でじっくりと高度なソフトウェア開発の技術を伝授する。また「年に数回ですがボウリング大会、この時期だと屋形船で人気のマグロの解体ショーを楽しんだり親睦を深めるイベントをおこなっています」(天津氏)。現場に入ってから、社内研修や一般研修、社外研究など自己研鑽・スキルアップ支援に向けた機会を設けている。「福利厚生ではありませんが、話題となっている新しい技術などをテーマにした勉強会を結構おこなっています」(稲荷氏)ということで、大学で学んだ

技術スキルの向上を望む学生には魅力的な環境だろう。

また、同時にマーケティングマインドを育成する。同社の理念のひとつで、広く社会に目を向け内在するニーズをつかむ能力とマーケットをリードする提案力を高めるものだ。「お客様をよく見てビジネスをつくっていくように」という思いがあります。エンジニアであってお客様と直接話をするということになるので、新人のころから同行して話を聞いてもらったり、可能なら提案する機会を用意します」と稲荷氏。営業部隊が居なくてもビジネスの成果につながっている要因でもあるだろう。

ビジネスのきっかけとして技術系情報サイトやウェビナーでの情報発信のほか、事業に関連した技術テーマの展示会にも積極的に出展する。JASA主催のEdgeTech+も対象のひとつだが、そのJASAについて稲荷氏は「マーケティング視点で見ると業界との接点や外部の情報が必要で、協力してパートナーさんやお客様に提案の機会が得られたり、そういう交流やビジネス機会につながるきっかけになればと期待しています」と口にする。続けて天津氏は「それぞれの会社を組み合わせて新しい技術が生み出せるといったビジネスマッチングとしての期待、組込みプラットフォームとか開発ツールとか新しい知識や技術習得につながる技術研鑽としての期待があります」と話してくれた。

●「会社訪問」のコーナーでは、掲載を希望される会員企業を募集しています。お気軽にJASAまでお問い合わせください。

第27回日本プラグフェスト開催報告 —プラグフェスト実行委員会—

第27回日本プラグフェストを開催いたしましたので報告いたします。

日本プラグフェストは、同一のインターフェース規格を使用するメーカー同士が、相互運用性を検証するための技術イベントです。ワールドワイドで新型ゲーム機のリリースを目前にして、世界シェアの高い海外メーカーが2社参加。また、参加チームの多くが、ゲー

ムモードや4K/8K対応の最新機能を搭載した機材を持ち込み、市場トラブルを未然に防ぐ為、実際のユースケースを想定し、複数の機器を同時に接続するシステム試験を事務局で設定し、接続試験を実施。各参加メーカーの機器から数多くの想定外の挙動が検出され、とても有意義な機会を提供することが出来ました。

【会期・場所】

会期：2025年5月29日(木)～30日(金)
場所：横浜シンフォステージ ウェストタワー5階 セミナールーム
主催：一般社団法人組込みシステム技術協会(JASA)

【目的・特徴】

同一インターフェース規格(HDMI)を持つ製品間の相互運用性を検証し、確実なものとする事で、不具合解消や品質の向上を目的としています。参加メーカーは、ソース機器1、シンク機器2、リピータ機器3に分かれ、自社製品と他社製品との接続を行い、通信・映像・音声・暗号化検証において規格に準拠した通りの挙動となっているか、安定的な接続がなされているか等、細かく検証します。また日本プラグフェスト独自の試験項目を策定し実施することで、参加メーカー全体の品質向上を促しています。

【参加メーカー・機種】

●参加メーカー 16社 53名
●参加機種 シンク機器 11機種(TV、プロジェクタ等)／ソース機器 4機種(BDレコーダ、ゲーム機等)／リピータ機器 5機種(AVアンプ、AVレシーバ等)／ケーブル 1機種(ケーブル)

【次回の予定】

●日時 2025年12月 ●場所 地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター
●テスト規格 HDMI ●参加資格 HDMI搭載機器メーカーおよび、ケーブルメーカー
●参加料金 1名 22,000円(税込)
詳細につきましては、日本プラグフェストHP(<http://www.jasa.or.jp/TOP/pluginest/top/>)にてお知らせいたします。

1. デジタルコンテンツを出力する機器(BDレコーダ、デジタルカメラ等)
2. デジタルコンテンツを受信し表示する機器(TV、プロジェクタ等)
3. ソース機器とシンク機器間で、信号の再送信等を行う中継機(AVアンプ等)

【試験方法】

個別試験 ●各チーム3社の試験 ●1スロット70分
システム試験 ●ソース・リピータ・ソース・ケーブルの複数チームと接続する試験 ●日本プラグフェスト独自の試験を用い、一般家庭での複雑な機器の組み合わせを再現

【参加者からのご意見・ご要望】

- 毎回接続イベントを開催していただき、事前準備から運営、撤収まで、お忙しい所本当にありがとうございます。また今回場所を提供いただいたヤマハ様にも大変感謝しています。
- 会場が駅から近いとありがたい。京都が難しいなら関東圏や東海もありだと思いました。
- 自社での開催は気持ち的には楽でした。他社さんがどのように思われていたか気になります。セキュリティエリア等の都合で移動に関しては少し不便をおかけしたのではないかと考えています。
- 短い場合がおおかった。接続する機器数次第。同一チームで2台3台接続する場合は時間が足りない。機器数に応じてフレキシブルにもしくは80～90分



近畿支部セミナー開催報告 —技術&ビジネス分野から3つのテーマで実施—

2025年5月から6月にかけて、近畿支部は3つのセミナーを開催しました

技術セミナーでは、近畿大学の蔭山享佑氏に、モバイルデバイス向けプロセッサの最新研究についてご講演いただきました。高性能、プログラマブル及び汎用性を兼ね備えたモバイル機器プロセッサのアクセラレータ「連想メモリベース超並列SIMD型演算コア(CAMX)」を用いたマルチメディア処理に関して紹介されました。また、学生の研究内容もうかがうことができ、モバイルシステム開発者やテクノロジーに関心のある方々にとって、プロセッサ技術への理解を深める貴重な機会となりました。

総務セミナーでは、トラストリング株式会社の島田大学氏を講師に迎え、従来の「採用コストを上げる」「採用媒体を増やす」「採用工数を増やす」施策ではなく、企業の魅力に共感する人材を集める『コンセプト採用』を取り入れることで、5年前まで数応募しか来なかった中小企業が採用倍率90倍の採用人気企業になった秘密を解説いただきました。低コストで多くの応募を獲得するポイントや、人を動かす3要素など、具体的な事例を交えながら採用の新たなヒントが提供されました。

ソフトウェア業界で働く女性のためのセミナーでは、日本リレーション株式会社の浅尾京子氏によるパーソナルカラーについてご

講演いただき、ワンポイントレッスンも行われました。自分を引き立てる色を見分け、自信を持って仕事やプライベートに臨むためのヒントが提供されました。

その後、講師も招いて女性のみで行った懇親会では、会話が途切れることなく大変な盛り上がりを見せ、通常とは異なる活気にあふれた時間となりました。

近畿支部では今年度「インクルーシブIT研究会」を計画しており、多様な人々がIT業界で活躍できる環境を共に考える第一歩となりました。

技術セミナー



総務セミナー



女性のためのセミナー



懇親会



当日の様子

大阪・関西万博 2025でドローンシミュレータのデモを実施

JASA ドローンWG、OpenEL WGが主体となり、大阪・関西万博で箱庭ラボのドローンシミュレータを活用したデモンストレーションを実施しました。デモンストレーションでは、機体メーカーイームズロボティクスとコラボしました。デモ以外にも、イベント広場で様々な体験イベントをおこないました。

大阪ヘルスケアパビリオン催事の主催者はTISINTECであり、JASAは協力という立場で参加しました。WG活動を通じて、デジタルツイン技術を活用したドローンのバーチャル/リアル空間のコンセプトを軸に、2つのイベントをおこないました。



バーチャル観光

リアル側で実機のドローンを東尋坊（福井県）で飛行させました。万博会場からバーチャル空間の東尋坊のある地点まで飛行すると、リアル空間の東尋坊の映像に切り替わるといったシナリオです。

この催事は、大阪ヘルスケアパビリオンの催事テーマ「REBORN“人は生まれ変わる”、“新たな一歩を踏み出す”」にそったもの。車いすで生活されている方に視線操作でのバーチャルドローン操作を行ってもらい、リアル空間東尋坊との連携したバーチャル観光ツアーが体験できる内容としました。

技術で子供たちと明るい未来を

万博催事にあたっては、催事会場の広場で体験イベントの開催を構想し、「技術

で子供たちに明るい未来を！」をテーマに様々なイベントを開催しました。

トイドローン体験イベント

株式会社ozora、一般社団法人しまなみドローン協会さんのご協力を得て、トイドローンの体験イベントをおこないました。イベントには、100名を超える観客の方に参加頂きました。子供たちが多く参加してくれ、楽しく、そして真剣にドローンを飛ばす姿が印象的でした。

地上走行ロボット体験イベント

OpenEL WGが中心となり開催。イベントのテーマは、「cobot（協働）」として、ロボットが人にとって身近になることをアピールしました。

テーブル上のコースをゲームコントローラで操作できるモノと、コマンドベースで操作でき

るモノの2つのタイプを用意しました。子供たちにロボットの動作が理解しやすいようにしました。

ARドローン体験イベント

JASAドローンWG、箱庭ラボが中心となり、XRゴーグルを使ったARドローン操作体験イベントを開催しました。150名超の集客ができ、特に催事終了まで、多くの子供たちが順番待ちをしながら、体験イベントを楽しんでくれました。年齢や国籍を問わず、“初めての体験”に目を輝かせて体験を楽しめる素材であったことが印象的でした。

大阪・関西万博の催事を通じて

JASAで培ってきた技術アピール、他の企業、団体とのコラボした体験イベントを通じて、更に進化した技術で人々に喜んでもらえるように進化をしていきたいと考えています。

今回の催事対応においては、ドローンというキーワードに興味を持ったメンバーが集まり、催事に参加した一人一人が役割を考えて対応したことと様々な技術力が集結したことが成功につながったと思っています。



ドローン体験イベントの様子



異業種交流会 BBQ Party（関東支部）開催報告

2025年5月24日（土）、JASA関東支部主催による「異業種交流会 BBQ Party」が「BBQてらす御来光」にて開催されました。

本イベントは、業種や職種の垣根を超えた交流を目的に、中堅・若手社員を中心としたメンバーが集い、7社25名の参加者にて開催されました。参加者は4人ずつのテーブルに分かれ、美味しい食事とともに和やかな雰囲気の中で会話を楽しみました。

会場では、初対面同士でも自然と笑顔が交わされ、業務の話から趣味の話まで幅広いトピックが飛び交い、活発なコミュニケーションが生まれていました。日常業務では得られない視点に触れることができた、貴重な機会となったのではないかと考えられます。

ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。関東支部WGでは今後も、こうした交流の場を継続的に設けてまいりますので、次回開催にもぜひご期待ください。



トップリダー倶楽部で

大阪・関西万博に行こう！

経営者サミット委員会と関東支部、近畿支部、九州支部は共催で、10月9日（木）～10日（金）に「大阪・関西万博視察研修」を企画します。「いのち輝く未来社会のデザイン」がテーマのEXPO2025大阪・関西万博。未来社会の実験場をコンセプトとし、展示をみるだけでなく、世界80億人がアイデアを交換し、未来社会を「共創」(co-create)する場です。人類共通の課題解決に向け、先端技術など世界の英知を集め、新たなアイデアを創造・発信する場と位置づけています。日本で3回目、20年ぶりに開催される登録博覧会です。

経営者サミット委員会が推進する「トップリダー倶楽部」は、単なる勉強会ではなく、「学び」「交流」「ビジネス創出」を三本柱として、参加者と企業、ひいては組込み業界全体の成長を促すための戦略的なプラットフォームを目指しています。今回は関東支部、近畿支部、九州支部の国内視察研修と融合することで、より多くの会員が、より参加し易くなる企画としました。

「トップリダー倶楽部」は、①経営者・幹部層の知見を深める「学びの場」の提供、②ビジネスを創出する「人脈形成の場」の提供、③次世代リーダーの育成を目的に、2022年から開催しています。さらに今年度は、「大人の社会見学」というアプローチを加味しました。参加者が時代の変化に対応するための新たな視点や知識を得ることを目指します。

また国内視察としては、関東支部の「他支部と連携し、国内外企業、学術団体等を視察し、新規ビジネス検討／会員間相互交流を創出」、近畿支部の「国内視察として地方の組込みシステム技術と地方情勢に関する調査及び意見交換を行い、組込みシステム技術の普及啓発に寄与する」、九州支部の「九州圏内で参加企業を募集し、JASA会員と参加企業のビジネスマッチングの場を提供する」といった、それぞれの目的に完全にマッチしたものとなりました。



● 予定行程

10月 9日
(木)

[16時頃] 新大阪駅周辺のホテルにて懇親会
新大阪駅周辺のホテルに宿泊

10月10日
(金)

[朝] チャーターバスにて万博会場へ
各グループ毎にパビリオン視察
[夕方] 現地にて解散

参加費

未 定
(万博チケット代、宿泊代、懇親会費用、チャーターバス代を含む)
※新大阪までの往復交通費は各自でご負担いただく予定です

開催要項・参加申込は協会HPより <https://www.jasa.or.jp>



大屋根リング



大阪・関西万博は、大阪では大変な盛り上がりを見せているものの全国的にはまだまだと感じます。しかしながらこれから夏休みに向けて、徐々にその熱気は全国に拡がり、閉幕直前の10月には大変な盛況が予想されます。またJASA会員同士が全国規模で集結できる貴重な機会にもなりますので、是非とも皆様方のご参加をお待ちしております。なお、今回共催となっていない支部の方々も、同様の条件で参加が可能です。

横田英史の 書籍紹介コーナー



The Nvidia Way エヌビディアの流儀

テイ・キム、千葉敏生・訳
ダイヤモンド社 2,640円(税込)

AIブームに乗って時価総額世界一にまで上り詰めた米エヌビディアについて、創業以前からの歴史と経営戦略、開発体制などを追ったビジネス書。共同創業者であるCEOのジェンソン・ファンなど、エヌビディア関係者への取材に基づいて内情を紹介する。

エヌビディアの社風は、週末のフルタイム労働や長時間残業、「光の速さで働け」などモーレツである。ジェンソンCEOは、「廃業30日前」と社員の危機感を煽り、公開の場での叱責で社員を鼓舞する。組織はフラットで、3チームが並行して製品開発を進める。

筆者が紹介するエヌビディアの評価は「勝てば官軍」。30年にわたってCEOの地位にあるジェンソンを手放して持ち上げる。本書を読んで強く感じるのは、「単一障害点」となっているジェンソンの存在だ。ジェンソン退任後のエヌビディアの先行きには不透明感が漂う。

シンギュラリティはより近く ～人類がAIと融合するとき～

レイ・カーツワイル、高橋則明・訳
NHK出版 2,640円(税込)

AIやバイオテクノロジー、ナノテクノロジーといった技術が切り開く未来を楽観的に語った「予言の書」。歴史を踏まえな

がら技術の進歩を振り返るとともに、数十年先までの未来を見通す。著者のレイ・カーツワイルは、前著(2005年刊)で「シンギュラリティは近い」と語ったことで知られる未来学者である。その楽観的な考え方は本書でも引き継がれ、シンギュラリティの実現は2035年頃を予想する。

「情報技術は、人間の可能性を実現する偉大な力と、社会が直面する多くの問題をまとめて解決する偉大な力を与えてくれる」「民主主義の理想の姿をより一層理解できるようになり、生活は指数関数的に向上する。貧困は減少し、収入は増え、寿命は延長する」と楽観論を説く。AIなど先進技術の脅威についても論じるが、全体の10%ほどのページで迫力に欠ける。

NEXUS 情報の人類史(上)、(下)

ユヴァル・ノア・ハラリ、柴田裕之・訳
河出書房新社 2,200円(税込)

「サピエンス全史」「ホモ・デウス」で知られる筆者の新作。今回は人類史における組織・情報ネットワークとAIに焦点を当てる。「サピエンス全史」で発揮された筆者らしい俯瞰的な視点は本書でも冴え、大きな枠組みの中で情報ネットワークとAIを捉える。

上下2巻で600ページを超える大著で、上巻ではITC以前の情報ネットワークをカバーする。情報とは何かに始まり、物語の重要性、印刷の発明、出版と科学の発展や魔女狩りとの関係、エコーチェンバー現象の発生、文書検索の必要性

と官僚制の誕生などに言及する。

下巻では、「AIの危険性と規制の必要性」を訴える。AIを警戒心なく受け入れ、政治・経済・社会のシステムに取り込むことに警鐘を鳴らす。AIは人間とは違う異質の知能であり、Ailean Intelligenceだと考えるべきだとする。「鉄のカーテン」ではなく、AIによって世界が分断される「シリコンのカーテン」を危惧する。

論理的思考とは何か

渡邊雅子
岩波書店 1,012円(税込)

論理的思考の本質について、具体例を挙げながら解説した書。論理的思考のパターンは一樣ではなく、思考の対象となる分野によって異なることを明らかにする。筆者は2つのことを強調する。一つは多様性で、「論理的思考が世界共通で普遍」と考えるは間違いだということ。もう一つは、論理的思考には目的(領域)に紐付いた「型」が存在すること。領域を特定して、その領域にあった思考法を選ぶことが重要となる。

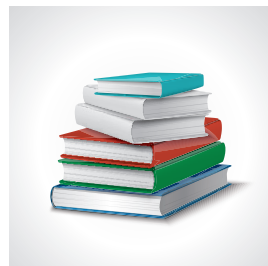
社会を構成する4領域(経済、政治、技術、社会)について、それぞれの領域における特徴的なレトリック(作文)を分析することで、思考法の違いを明らかにする。例えば経済ではアメリカのエッセイを例に、効率性と確実な目的達成を重視する思考法を示す。政治ではフランスのディセルタシオンを取り上げ、矛盾の解決と公共の福祉を重視することについて論じる。

横田 英史 (yokota@et-lab.biz)

1956年大阪生まれ。1980年京都大学工学部電気工学科卒。1982年京都大学工学研究科修了。川崎重工業技術開発本部でのエンジニア経験を経て、1986年日経マグロヒル(現日経BP社)に入社。日経エレクトロニクス記者、同副編集長、BizIT(現日経クロステック)編集長を経て、2001年11月日経コンピュータ編集長に就任。2003年3月発行人を兼務。2004年11月、日経バイト発行人兼編集長。その後、日経BP社執行役員を経て、2013年1月、日経BPコンサルティング取締役、2016年日経BPソリューションズ代表取締役就任。2018年3月退任。2018年4月から日経BP社に戻り、日経BP総合研究所 グリーンテックラボ 主席研究員、2018年10月退社。2018年11月ETラボ代表、2019年6月当協会理事、2020年4月(株)DXパートナーズ アドバイザリーパートナー、2024年3月(株)観瀾舎を設立 代表取締役社長、現在に至る。

記者時代の専門分野は、コンピュータ・アーキテクチャ、コンピュータ・ハードウェア、OS、ハードディスク装置、組込み制御、知的財産権、環境問題など。

*本書評の内容は横田個人の意見であり、所属する団体の見解とは関係がありません。



JASA 会員一覧

(2025年7月)

北海道支部

HISホールディングス株式会社	http://www.hokuyois.co.jp
株式会社技研工房	https://www.giken-k.biz
株式会社クレスコ 北海道開発センター	https://www.cresco.co.jp
株式会社コア 北海道カンパニー	http://www.core.co.jp
株式会社シー・エヌ・エス	http://www.cnws.co.jp
株式会社テクノラボ	https://www.techno-labo.co.jp
デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社 函館分室	https://www.ditgroup.jp
株式会社リッジワークス	https://www.ridgeworks.co.jp

東北支部

株式会社イーアールアイ	http://www.erii.co.jp
株式会社イーエムエス	https://ems-to.jp
株式会社コア 東関東カンパニー	http://www.core.co.jp
株式会社CIC 東北支店	https://www.cichdgroup.com
国立大学法人東北大学 情報科学研究科教授 青木研究室	http://www.tohoku.ac.jp
株式会社ビッツ 東北事業所	https://www.bits.co.jp

関東支部

一般社団法人IIOT	https://www.iiot.or.jp
株式会社アイ・エス・ビー	https://www.isb.co.jp
一般社団法人iCD協会	https://www.icda.or.jp
一般社団法人ICT CONNECT 21	http://ictconnect21.jp
一般社団法人IT検証産業協会	https://www.ivia.or.jp
株式会社アクティブ・ブレインズ・トラスト	https://active-brains-trust.jp
アストロデザイン株式会社	https://www.astrodesign.co.jp
株式会社アックス	http://www.axe.bz
株式会社アットマークテクノ	https://www.atmark-techno.com
アップウィンドテクノロジー・インコーポレイテッド	http://www.upwind-technology.com
アドバンスシステムズ株式会社	http://www.asco.jp
株式会社アドバンス・データ・コントロールズ	http://www.adac.co.jp
株式会社アフレル 東京支社	https://afrel.co.jp
アンドールシステムサポート株式会社	https://www.andor.jp
イーエルシステム株式会社	https://www.el-systems.co.jp
イーソル株式会社	https://www.esol.co.jp
株式会社イーテクノロジー	https://www.e-technology.co.jp
イマジネーションテクノロジー株式会社	https://www.imgtec.com
株式会社インサイトワン	http://www.insight-one.co.jp
株式会社インテック	https://www.intec.co.jp
株式会社インフォテック・サーブ	http://www.infotech-s.co.jp
ウィンボンド・エレクトロニクス株式会社	https://www.winbond.com/hq?_locale=ja
株式会社エクスモーション	https://www.exmotion.co.jp
株式会社SRA	https://www.sra.co.jp
SHコンサルティング株式会社	https://www.swhwc.com
STマイクロエレクトロニクス株式会社	https://www.st.com
株式会社NSP	http://www.nsp-ltd.co.jp
株式会社NTTデータMSE	https://www.nttd-mse.com
株式会社NTTデータ オートモビリティ研究センター	https://www.zipc.com
株式会社エヌデーデー	https://www.nddhq.co.jp

株式会社エンファシス	http://www.emfasys.co.jp
株式会社エンベックスエデュケーション	https://www.embex-edu.com
ガイオ・テクノロジー株式会社	https://www.gaio.co.jp
株式会社金沢エンジニアリングシステムズ	https://www.kanazawa-es.com
学校法人金沢工業大学産業連携室	https://www.kanazawa-it.ac.jp
株式会社ギガ	https://www.giga.core.co.jp
キーサイト・テクノロジー株式会社	https://www.keysight.com/jp/ja
一般社団法人行政情報システム研究所	https://www.iais.or.jp
特定非営利活動法人組込みソフトウェア管理者・技術者育成研究会	http://www.sesame.jp
一般社団法人組込みマルチコアコンソーシアム	https://www.embeddedmulticore.org
株式会社グレープシステム	https://www.grape.co.jp
株式会社クレスコ	https://www.cresco.co.jp
グローバルバージョンコンサルティング株式会社	https://www.gicip.com
K-Best Technology株式会社	https://kbestjp.com
株式会社コア	http://www.core.co.jp
コードギア株式会社	https://www.codegear.co.jp
一般財団法人国際情報化協力センター	https://cicc.or.jp
株式会社コマス	http://www.comas.jp
株式会社コンセプトアンドデザイン	https://www.candd.co.jp
サイバートラスト株式会社	https://www.cybertrust.co.jp
株式会社CRI・ミドルウェア	https://www.cri-mw.co.jp
株式会社CIC	https://www.cichdgroup.com
CQ出版株式会社	https://www.cqpub.co.jp
JRCエンジニアリング株式会社	http://www.jrce.co.jp
株式会社ジェーエフピー	http://www.jfp.co.jp
一般社団法人J-TEA	http://www.j-tea.jp
ジェネシス株式会社	http://www.genesys.gr.jp
株式会社システム計画研究所	https://www.isp.co.jp
株式会社システムサイエンス研究所	http://www.sylc.co.jp
一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会	http://www.ccds.or.jp
一般社団法人情報サービス産業協会	https://www.jisa.or.jp
一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会	https://www.ciaj.or.jp
一般社団法人スキルマネジメント協会	http://www.skill.or.jp
株式会社STELAQ	https://stelaq.co.jp
株式会社ストラテジー	http://www.k-s-g.co.jp
一般社団法人セキュアIoTプラットフォーム協議会	https://www.secureiotplatform.org
株式会社ゼロソフト	https://www.zerosoft.co.jp
ソーバル株式会社	https://www.sobal.co.jp
株式会社Sohwa & Sophia Technologies	http://www.ss-technologies.co.jp
一般社団法人ソフトウェア協会	https://www.saj.or.jp
一般財団法人ソフトウェア情報センター	http://www.softic.or.jp
第一生命保険株式会社	http://www.dai-ichi-life.co.jp
一般社団法人体験設計支援コンソーシアム	http://www.cxds.jp
株式会社チェンビジョン	http://www.change-vision.com
株式会社DTSインサイト	https://www.dts-insight.co.jp
株式会社D・Ace	http://d-ace.co.jp
ディジ インターナショナル株式会社	http://www.digi-intl.co.jp
TDIプロダクトソリューション株式会社	http://www.tdips.co.jp
テクマトリックス株式会社	https://www.techmatrix.co.jp

デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社	http://www.ditgroup.jp
デンセイシリウス株式会社	https://www.denseisirius.com
株式会社電波新聞社	https://www.dempa.co.jp
東京電機大学 未来科学部	http://web.dendai.ac.jp
東芝情報システム株式会社	https://www.tjsys.co.jp
東信システムハウス株式会社	http://www.toshin-sh.co.jp
株式会社トーセイシステムズ	https://www.toseisystems.co.jp
株式会社東光高岳	https://www.tktk.co.jp
特定非営利活動法人TOPPERSプロジェクト	http://www.toppers.jp
トロンフォーラム	http://www.tron.org
株式会社ナイトテクノロジー	https://k-tech.co.jp
株式会社ニッキ	http://www.nikkinet.co.jp
株式会社日新システムズ 東京支社	https://www.co-nss.co.jp
日本システム開発株式会社	http://www.nskint.co.jp
株式会社日本製鋼所 広島製作所	https://www.jsw.co.jp
日本生命保険相互会社	https://www.nissay.co.jp
日本ローターバッハ株式会社	https://www.lauterbach.com/jindex.html
ノアソリューション株式会社	http://www.noahsi.com
株式会社ノードゥス	https://www.nodus-inc.com
株式会社ハイスポット	http://www.hispot.co.jp
株式会社パトリオット	http://www.patriot.co.jp
ハル・エンジニアリング株式会社	https://www.haleng.co.jp
ビ・エモーションA.I.株式会社	https://www.beemotion.ai
株式会社ピーアンドピービューロウ	https://www.pp-web.net
ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ株式会社	http://biz3.co.jp
株式会社日立産業制御ソリューションズ	https://www.hitachi-ics.co.jp
株式会社ビット	https://www.bits.co.jp
株式会社ブライセン	https://www.brycen.co.jp
マルツエレクトリック株式会社	https://www.marutsu.co.jp
株式会社メタテクノ	https://www.meta.co.jp
モバイルコンピューティング推進コンソーシアム	https://www.mcpc-jp.org
ユタカ電気株式会社	http://www.yutakaelectric.co.jp
株式会社ラデックス	https://www.rdx.co.jp
株式会社来夢多	http://www.ramuda.co.jp
一般社団法人RISC-V協会	https://www.riscv.or.jp
リネオソリューションズ株式会社	https://www.lineo.co.jp
株式会社連基	https://www.cnct.world
早稲田大学 グローバルソフトウェアエンジニアリング研究所	http://www.washi.cs.waseda.ac.jp

中部支部

株式会社ウィッツ	https://www.witz-inc.co.jp
株式会社ウォンツ	http://www.wantsinc.jp
有限会社OHK研究所	
株式会社OTSL	http://www.otsl.jp
株式会社コア 中部カンパニー	http://www.core.co.jp
三幸電子株式会社	http://www.sanko-net.co.jp
株式会社サンテック	http://www.suntec.co.jp
株式会社テクノフュージョン	http://www.tfusion.co.jp
東海ソフト株式会社	http://www.tokai-soft.co.jp
東洋電機株式会社	http://www.toyo-elec.co.jp
萩原電気ホールディングス株式会社	https://www.hagiwara.co.jp
株式会社バッファロー	http://buffalo.jp

半田重工業株式会社	https://hanju.co.jp
ベルエアーシステムズ株式会社	https://www.belairsystems.jp
株式会社明理工業	http://www.meiri.co.jp
株式会社ユタカ電子	https://www.yutakadenshi.co.jp

近畿支部

株式会社暁電機製作所	https://www.arunas.co.jp
株式会社アクシアソフトデザイン	http://www.axia-sd.co.jp
株式会社アフレル	https://afrel.co.jp
イーエルシステム株式会社	http://www.el-systems.co.jp
HIK株式会社	https://www.hik-jv.jp
株式会社大阪エヌデーエス	https://www.nds-osk.co.jp
一般財団法人関西情報センター	http://www.kiis.or.jp
組込みシステム産業振興機構	http://www.kansai-kumikomi.net
株式会社クレスコ 大阪事業所	https://www.cresco.co.jp
株式会社コア 関西カンパニー	http://www.core.co.jp
コネクトフリー株式会社	https://connectfree.co.jp
株式会社Communication Technologies Inc.	https://www.cti.kyoto
株式会社システムクリエイティブ	https://systive.co.jp
株式会社システムプランニング	http://www.sysplnd.co.jp
株式会社XIN	https://www.xin-corp.co.jp
スキルシステムズ株式会社	https://skill-systems.co.jp
株式会社ステップワン	http://www.stepone.co.jp
住友電工システムソリューション株式会社	https://www.seiss.co.jp
株式会社窓飛	http://www.sohi.co.jp
株式会社ソフト流通センター	http://www.k-src.jp
太洋テクノレックス株式会社	http://www.taiyo-xelcom.co.jp
株式会社たけびし	http://www.takebishi.co.jp
株式会社タダノ	http://www.tadano.co.jp
株式会社D・Ace 大阪支社	http://d-ace.co.jp
デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社	https://www.ditgroup.jp
有限会社中野情報システム	http://nakanoinfosystem.com
株式会社日新システムズ	https://www.co-nss.co.jp
日本メカトロニクス株式会社	http://www.n-mec.com
株式会社ハネロン	http://www.haneron.com
株式会社Bee	http://www.bee-u.com
株式会社ビット 関西事業所	https://www.bits.co.jp
株式会社bubo	https://www.bubo.inc
株式会社FLAPS	https://www.e-flaps.com
株式会社村田製作所	https://www.murata.com/ja-jp
株式会社ルナネクス	http://www.luna-nexus.com

九州支部

株式会社エフェクト	http://www.effect-effect.com
株式会社クレスコ 福岡開発センター	https://www.cresco.co.jp
株式会社コア 九州カンパニー	http://www.core.co.jp
株式会社CIC 九州営業所	https://www.cichdgroup.com
株式会社メック	https://www.mecc.co.jp
柳井電機工業株式会社	http://www.yanaidenki.co.jp

・個人会員 9名

JASAプログラムで、貴社のエンジニアを育成！

JASAでは組込み業界に関わる方々、この分野に興味を持つ方々を対象に、開発に必要なスキル習得を目的とした講座をオンライン開催しています。

オンラインで開催することで、会場へのアクセスのコストと時間の削減、リモートワークでも受講できます。

オンライン講座

3時間程度のセッションで受講する形式です。講師がリアルタイムで講義を行うため、その場で疑問点を質問できます。

現在、次の講座を調整中です。確定次第、JASAホームページならびに会員メールにてご案内いたします。

ソフトウェアエンジニアのためのハードウェア知識

ハードウェアを意識したソフトウェア開発の知見を習得することを目指します。過去2回好評を得ており、3回目の開催となります。

【開催予定】 2025年12月～2026年2月 2セッション/講座

プライベートLLM活用最前線(仮)

製造業を中心に活用が進むプライベートLLMに焦点を当て、その具体的な活用方法の概要をご案内いたします。

企業や個人が自分専用の大規模言語モデル(LLM)を構築・運用する「プライベートLLM」は特定の環境内で動作し、機密情報を安全に処理できるのが特徴です。

【開催予定】 2025年12月～2026年2月 2セッション/講座



オンデマンド講座

過去のオンラインセミナーの動画をオンライン配信いたします。インターネットとブラウジング環境さえあれば、ご都合の良い時間に、受講期間中何度でも学習できます。

現在、2025年度上半期分として開催中です。詳細はJASA HP「オンデマンド研修講座<春・夏>」でご確認ください。

www.jasa.or.jp/

- プロジェクトマネジメント講座
6セッション *各約2時間の動画とテキスト
- OSSライセンス基礎講座
2セッション *各約2時間の動画とテキスト
- IoTセキュリティ講座
2セッション *各約2時間の動画とテキスト
- アジャイル開発 基礎講座・実践講座
各2セッション *各約2時間の動画とテキスト
- アジャイル開発 実践講座
各2セッション *各約2時間の動画とテキスト
- 要件定義講座 ①・②
各3セッション *各約2時間の動画とテキスト
- ① 要求モデリング・スコーピング・要求分析
- ② 構造設計の基本・コード起点設計・アーキテクチャ中心



JASA CALENDAR



SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

第21回 RISC-V WG 主催 Web セミナー

【日 時】 2025年7月23日 15時～16時 【方 法】 Teams によるオンライン

【講演者】 三井不動産 増田大樹 様

【内 容】 「不動産デベロッパーから産業デベロッパーへ」

三井不動産の産業支援の取り組みのご紹介

問い合わせ

jasainfo@jasa.or.jp

■編集後記

当協会は、6月12日開催の第39回社員総会を経て、新たな体制となりました。本号では、ET事業本部の組織変更の目的と、技術本部に設けた新しいWG(ワーキンググループ)の設立趣旨などを解説しました。また、新たに就任された役職理事の方々に抱負を語ってもらいました。いずれも、当協会の今後の方向性を知ることのできる内容です。ご一読ください。

本号の特集はEdgeTech+ Westのプレビューです。「AI/生成AIで加速する事業変革と産業DX」をテーマに掲げ、充実した展示とカンファレンスをお届けします。恒

例となっている、暑い大阪で繰り広げられる“熱い”ヒートアップセッションからも目を離せません。特集を来場の際の参考にして頂ければ幸いです。

今年の関西といえば、ずばり「大阪・関西万博」です。フットワークの軽い当協会が見逃すはずがありません。ドローンWGとOpenEL WGが開幕早々の4月29日に、ヘルスケアパビリオンの屋外催場で研究成果を披露するとともに、家族連れが参加できる「バーチャルドローンの体験イベント」を開催しました。多くの参加者が詰めかけ大盛況でした。本号のレポート記事で、ぜひ熱気を感じてください。

広報委員長 横田英史

出展申込み
受付中!

生成AIで変わる開発現場 「コードを書く」から「AIと創る」時代へ

Internet of Things

AI/generative AI

IoT

横浜開催

EdgeTech+

2025

Vision AI

Embedded
Hardware

2025年11月19日 水 - 21日 金

10:00-17:00
(20日[木]は18:00まで)

パシフィコ横浜 展示ホール/アネックスホール

<https://www.jasa.or.jp/expo/>

エッジテックプラス



Agile



Automotive
Software



Development
Support

Open Source
Software

OSS

Automotive Software Expo

オートモーティブ ソフトウェア エキスポ

SDV時代に向けての自動車開発と ソフトウェア技術の専門イベント



好評企画

自動車産業におけるソフトウェア開発技術とその最新動向にフォーカスした特別企画

Vision AI Expo Fall

<画像認識AI EXPO 2025 Fall>

DX社会の実現やさらなるイノベーションの発展に向けて
画像認識・解析AI技術が集結します!

*企画詳細は適時
公式サイトで公開
いたします。

●出展に関する資料請求・お問い合わせ・お申し込み等

EdgeTech+事務局 (株) ナノオプト・メディア内

☎ 03-6258-0589 ✉ sales-info@f2ff.jp

SNSでも最新情報を配信中!!

[#エッジテックプラス]

@ET_secretariat

@EmbeddedIoTTechnology



協会概要

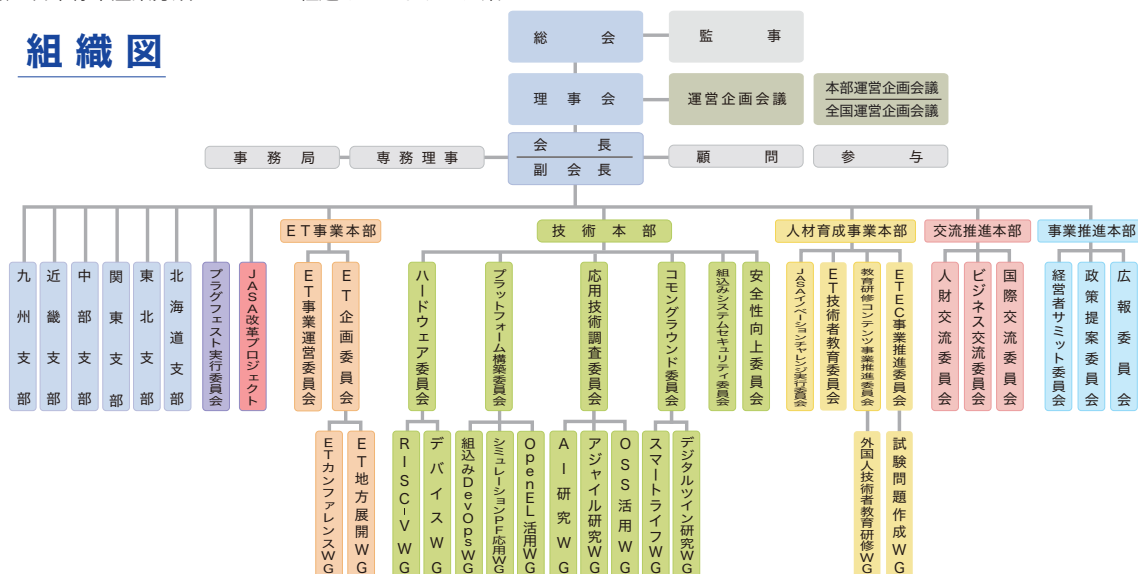
JASAは、組込みシステム技術とIoT・5G・AI等を包括するエッジコンピューティング技術の活用により、様々な産業分野を跨ぐ協会として、技術の普及・高度化、調査研究、人材育成、ビジネス創出等、広範な業界活動を積極的に展開しています。

名称 一般社団法人組込みシステム技術協会
Japan Embedded Systems Technology Association (JASA)
会長 竹内 嘉一
事務所 本部 東京都中央区入船 1-5-11 弘報ビル 5 階
支部 北海道、東北、関東、中部、近畿、九州
会員数 正会員 138 社 賛助会員 28 社 支部会員 18 社
学術会員 4 団体 個人会員 9 名
設立 昭和 61 年 8 月 7 日
平成 24 年 4 月 1 日 一般社団法人へ移行
組織 事業推進本部、交流推進本部、人材育成事業本部、
技術本部、ET 事業本部
産業分類 日本標準産業分類 G-3912 組込みソフトウェア業

目的

組込みシステム(組込みソフトウェアを含めた組込みシステム技術をいう。以下同じ。)における応用技術に関する調査研究、標準化の推進、普及及び啓発等を行うことにより、組込みシステム技術の高度化及び効率化を図り、もって我が国の産業の健全な発展と国民生活の向上に寄与することを目的とする。

組織図



主な事業活動

協会広報及び政策提案等事業

- ①『JASAビジョン2030』3ヵ年計画推進と次期計画の策定
- ②企業と経営者にとって必要とされる知識、人脈、協創機会の提供
- ③ホームページ・機関誌等による業界広報の活性化と技術普及促進
- ④産官学に向けたJASAブランド・ロイヤリティの向上
- ⑤関係官庁、地方自治体、関連団体・協会等との連携推進

交流促進事業

- ①海外動向等情報収集及び発信と国際化対応の支援
- ②協会・ビジネスマッチング及び事業創造機会の創出
- ③支部・地域団体と連携した情報発信
- ④学生に向けた業界認知度の向上と交流イベントの運営

人材育成事業

- ①ETEC(組込み技術者試験制度)によるスキル向上と技術者教育
- ②教育コンテンツ整備と各種セミナー運営による人材育成事業強化
- ③「ETロボコン」による若手技術者の教育機会を提供
- ④VUCA時代の変化に強いビジネスパーソンを育成する
集中トレーニング「仮設検証ブートキャンプ」の実施運営
- ⑤外国人エンジニアの採用と就職支援

技術高度化・普及開発事業

- ①機能安全の課題や国際規格に関する調査研究と安全仕様整備
- ②IoTセキュリティの国際安全基準適合の認証事業運営と
「組込みセキュリティ教材」運営
- ③実用IoTとCPS/コモングラウンドを実現する
エッジコンピューティング技術の推進

- ④アジャイル開発に関する調査研究
- ⑤AI活用技術の推進
- ⑥シミュレーション技術を軸とした仮装環境実現の推進と
OpenEL普及啓発
- ⑦JASA標準組込みDevOpsプラットフォームの構築
- ⑧RISC-V及びOSSなどオープンな技術の発展、振興と普及啓発
- ⑨インターフェース相互接続検証の場「日本プラグフェスト」の
実施運営

展示会・イベント事業

- ①エッジテクノロジーに新たなプラスで加速するDXと事業変革を
推進する総合展「EdgeTech+」の開催
- ②オープンイノベーションイベント、協会イベントの企画運営と
若手来場者の取り込み
- ③業界団体イベントとしての様々なコンテンツ提供
- ④オートモティブ等、応用分野の取り込みと、生成AI/AI、DX等
最新情報発信

支部活動と地域活性化

- ①支部・本部連携による、組込みシステム技術の普及啓発
- ②オンライン会議等を活用した、地域から全国レベルの情報発信
- ③地域特性を生かした支部事業の活性化と会員相互の交流促進
- ④地域における官公庁及び関連機関との情報交流と地域産業の
活性化推進